緊急連絡先

消防（火事・救急） 119　警察（事件・事故） 110

伊万里市役所（代表）	0955-23-2111
伊万里市役所（農山漁村整備課）	0955-23-2591
伊万里警察署	110または0955-23-3144

伊万里・有田消防本部	119または0955-23-2119
九州電力送配電（停電情報自動対応サービス）	0120-426-305
NTT（電話サービスの故障）	113

いざというときの連絡先

家族の名前	緊急連絡先（会社・学校）	住　所	生年月日	血液型

アプリ・メールからの情報収集

防災ネットあんあん

佐賀県が運営する防災・安全安心情報配信システムです。県民のみなさんが安全で安心に生活できるよう、各種防災情報等を配信しています。配信される情報は、お住まいの地域や目的に合わせて選択ができます。

緊急速報メール

気象庁が配信する緊急地震速報や市が配信する避難情報を特定地域内のスマートフォン・携帯電話に対して一斉配信します。観光や仕事、一時的に滞在している人も受信できます。

※登録不要・受信料無料。
各携帯電話会社のホームページなどをご確認ください。

災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル（171）のご利用方法

災害用伝言ダイヤル（171）は、ため池崩壊・地震・水害などの自然災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始されるサービスです。

「171」をダイヤルする

音声ガイダンスが流れます

- 伝言を録音するとき［1］
- 伝言を再生（確認）するとき［2］

音声ガイダンスが流れます

被災地の方の電話番号

市外局番からダイヤル
携帯電話番号も利用できます

- 伝言を吹き込む（30秒以内）
- 伝言を聞く

ご利用可能な環境

固定電話・携帯電話・IP電話・公衆電話 ほか

詳しくは　NTT西日本　災害用伝言ダイヤル「171」

災害用伝言板のご利用方法

災害の発生時、被災地域の居住者がインターネットを経由して災害用伝言板にアクセスし、電話番号をキーとして伝言情報（文字）の登録・確認ができます。

災害用伝言板にアクセス（インターネットまたは災害用アプリ）

- 伝言を登録する場合「登録」を選択
  - 選択肢から選ぶ またはコメントを入力する
    - ・「無事です。」
    - ・「被害があります。」
    - ・「自宅に居ます。」
    - ・「避難所に居ます。」　等
    - ・自由に伝言を入力する（100文字以内）
- 伝言を確認する場合「確認」を選択
  - 被災地の方の電話番号を入力する
  - メッセージを確認する

ご利用可能な環境

パソコン・スマートフォン・携帯電話・タブレット ほか

詳しくは　NTT西日本 災害用伝言板「web171」または
携帯電話各社の災害用伝言専用ページ

お問合わせ　伊万里市農山漁村整備課

〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1　電話：0955-23-2591 FAX：0955-23-2474
E-mail/ nousangyoson@city.imari.lg.jp

令和6年（2024年）11月発行

身近なほど、自然の怖さを忘れがちです。

伊万里市 ため池 ハザードマップ

防災気象情報の入手について
ため池決壊の起こり方
土砂災害について
避難について
ため池ハザードマップ
日頃の備え 避難生活の心得

伊万里市
IMARI CITY

防災気象情報の入手について

避難を判断するための情報（警戒レベルと防災気象情報）

避難情報には災害発生の危険度と市民のみなさんの取るべき行動を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えしています。

警戒レベル・避難情報 等		避難行動 等	防災気象情報（国土交通省・気象庁・都道府県が発表）
5	緊急安全確保（市が発表）	●すでに災害が発生または切迫している状況です。 ●直ちに命を守るための行動をとりましょう。	警戒レベル5相当情報 ・氾濫発生情報 ・大雨特別警報等
〈警戒レベル4までに必ず避難！〉			
4	避難指示（市が発表）	●危険な場所から速やかに避難先へ避難しましょう。 ●一番安全だと思われる場所（公的な避難場所・自宅の2階・近所の安全な場所など）に避難しましょう。	警戒レベル4相当情報 ・氾濫危険情報 ・土砂災害警戒情報等
3	高齢者等避難（市が発表）	●避難に時間を要する人（高齢者、障がいのある方、乳幼児等）とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	警戒レベル3相当情報 ・氾濫警戒情報 ・大雨警報 ・洪水警報等
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁が発表）	●避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	
1	早期注意情報（気象庁が発表）	●災害への心構えを高めましょう。	

これらは、市民のみなさんが自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

※市が災害の全てを把握できるものではないため、必ず発令されるものではありません。

防災気象情報の入手先

様々な自然災害による被害を軽減するため、いろいろなメディアで防災気象情報が発信されています。いざという時、“自分の身は自分で守る”ためには、災害が起きてから考えたのでは遅すぎます。日頃からご家族や職場などで、必要な防災気象情報と災害に対応した避難行動を確認しておくことが重要です。

アプリによる情報入手

防災ネットあんあん（佐賀県）

配信される情報

1. **防災情報**… 気象情報（大雨など）、地震情報等
2. **防犯情報**… 県内の不審者情報、事件情報等
3. **緊急情報**… 大規模な事故など緊急に伝達が必要な情報等
4. **火災情報**… 火災の発生、鎮火の情報
5. **災害発生時の安否確認情報**

防災ネット あんあん

Yahoo! 防災速報

様々な災害が発生した場合、命を守る行動につながる防災情報を、Yahoo!防災速報は届けます。

(Android)　(iOS)

Yahoo! 防災速報

逃げなきゃコール

アプリから防災関連の情報も入手でき、アプリを活用した取り組みとして「逃げなきゃコール」があります。

スマートフォンアプリの地域登録機能を使って、離れた場所に暮らす家族の地域に警戒情報が出されたら、直接電話をかけて避難行動を呼びかけましょう。

逃げなきゃコール

NHKニュース・防災

日本全国の災害情報や避難情報・気象情報などを、リアルタイムにお届けする公式アプリです。

(Android)　(iOS)

NHKニュース・防災

インターネットによる情報入手

いまりんマップ

伊万里市の様々な地図情報をインターネットを通じて公開・提供するサイトです。

いまりんマップ

伊万里市ホームページ

伊万里市ではため池決壊に備えて、伊万里市ハザードマップを作成しています。

伊万里市ホームページ

気象庁ホームページ

天気予報や警報・注意報、キキクル（危険度分布）などをリアルタイムで配信しています。

○雨雲の動き（高解像度降水ナウキャスト）
※土砂キキクルは6ページ参照
○洪水キキクル
○浸水キキクル
○土砂キキクル

気象庁ホームページ

すい坊くん

各種ハザードマップをパソコンやスマートフォンから閲覧できます。

すい坊くん

国土交通省「川の防災情報」

水位観測所や雨量観測所の状況を確認できます。

国土交通省「川の防災情報」

SNSによる情報入手

伊万里市公式 LINE

伊万里市が発信する災害情報などは、すべての登録者のみなさんへ配信します。

その他、生活に密着した情報の中から、選択した情報だけを、「市公式LINEアカウント」でタイムリーにお届けしています。

伊万里市公式 LINE
ID　@imari_city

伊万里市公式 Facebook

伊万里市では、facebook（フェイスブック）を使った行政情報の提供を行います。

伊万里市公式 Facebook

伊万里市公式 X（旧Twitter）

伊万里市では、X（旧Twitter）を使った情報発信を行っています。伊万里市からの情報などをつぶやいています。

伊万里市公式 X
ID　@imari_city

電話による情報入手

防災行政無線の放送が聞き取れなかったときや、再度放送をお聞きになりたいときは、専用の電話番号（0955-23-2169）に電話をかけていただくことで放送内容を聞くことができます。

テレビによる情報入手

データ放送

地上デジタル放送対応のテレビでは、リモコンの『d』ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認することができる「データ放送」を配信しています。

NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。

ケーブルテレビ

ケーブルテレビ（伊万里ケーブルテレビジョン、西海テレビ）に加入されているご家庭では、防災行政無線の放送内容をケーブルテレビでも確認できます。

ため池決壊の起こり方

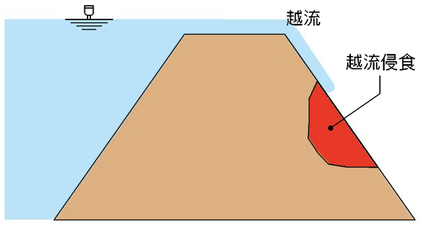
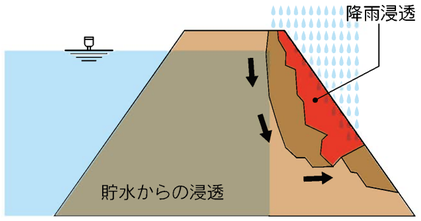
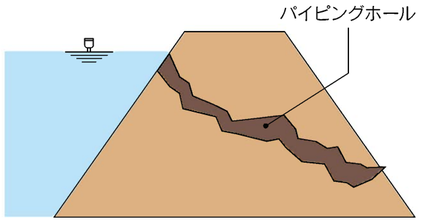
豪雨や地震により、ため池の堤体には池内に貯留している水が浸透するおそれがあります。

水が浸透すると、土の粒子の間に水が入り、土が移動しやすい状態となり堤体が弱くなります。

また、水が堤体を越流すると、流水そのものの影響で堤体が侵食され、決壊の要因となります。

豪雨や地震によるため池決壊の被災形態をそれぞれ次に示します。

豪雨による ため池の被災形態

区　分	被災形態	被災メカニズム
越流破壊		豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流法面を流下することによって、法面が破壊される場合があります。 また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して堤体が破壊される場合があります。
すべり破壊		貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面の強度が低下することによって、法面ですべりが発生し堤体が破壊される場合があります。
浸透破壊		堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して堤体が破壊される場合があります。 また、堤体内に上流から下流まで貫通した水みちが発生し堤体が破壊される場合があります。

水害時の注意点

■足元に注意

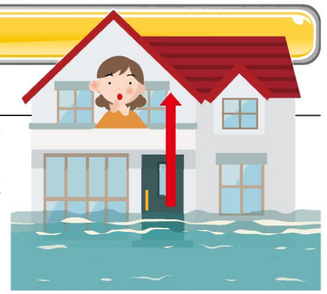
浸水すると足元が見えなくなり、側溝やマンホールに気付きにくくなるので、長い棒などを杖代わりにして歩きましょう。

■動きやすい服装で

ヘルメットで頭を保護し、運動靴をはきましょう。裸足・長靴は危険です。

■逃げ遅れた場合は

50cm以上浸水している場合や夜間の避難は非常に危険です。自宅の2階など高いところに避難して安全を確保してください。

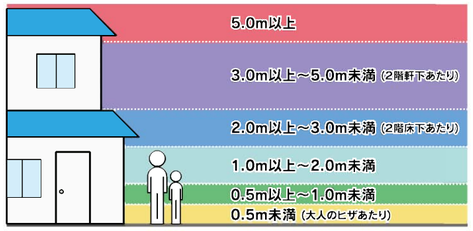


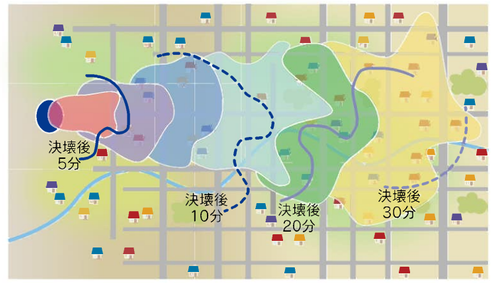
■その他の注意点

- ●橋は渡らないようにしましょう。
- ●大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。
- ●冠水しやすい道路は通らないようにしましょう。

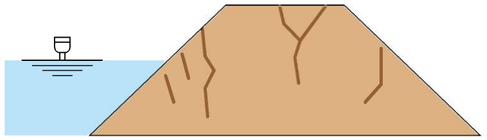
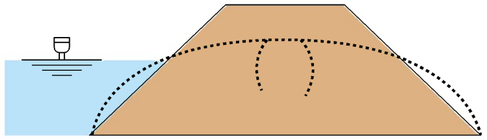
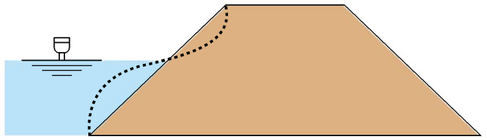
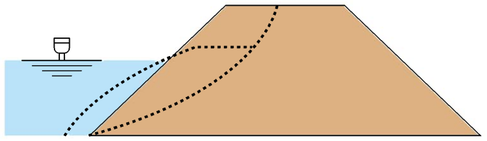
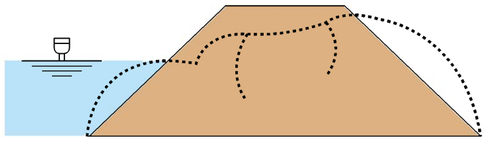
ため池ハザードマップにおける表示内容

ため池が満水時に大規模地震や大雨によって決壊した場合の「浸水する範囲（浸水域）」と「浸水の深さ（浸水深）」および「決壊後の概ねの洪水到達時間」を示しています。





地震による ため池の被災形態

区　分	被災形態	被災メカニズム
クラック		堤体の頂部などにクラック（亀裂）が発生する場合があります。堤体の上下流方向に生じるクラック（亀裂）は水みちとなることがあり、特に注意が必要です。
沈　下		堤体の形状をほぼ保ち、クラック（亀裂）などを伴いながら堤体が沈下する場合があります。多くは軟らかい地盤で発生しています。
斜面崩壊		堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる場合があります。
斜面すべり		地震動により堤体の法面にすべりが発生する場合があります。
崩　壊		堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する場合があります。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられます。

地震時の注意点

■ラジオなどで正しい情報を入手

- ●正しい情報をつかむ。
- ●緊急連絡を優先。
- ●家屋倒壊などの危険があれば避難。

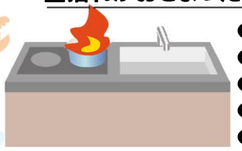
■まずは自分の身を守る

- ●机の下に入る。
- ●家具やガラス面から離れる。
- ●クッションや雑誌などで頭を保護する。

■隣近所の安全確認

- ●隣近所に声をかける。
- ●余震に注意。
- ●ご近所に火が出ていたら初期消火。

■揺れがおさまったら、まず火の始末



- ●脱出口を確保する。
- ●家族の安全を確保する。
- ●火元を確認する。
- ●靴をはく。
- ●非常持出品を用意する。

土砂災害について

関連WEBサイト

気象庁（土砂災害警戒情報）　気象庁（土砂キキクル）　佐賀県（すい坊くん）

土砂災害の種類とその前兆現象

土砂災害が発生するおそれがある区域として、
土砂災害警戒区域・特別警戒区域を県が指定しています。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命、または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のことを表します。
危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建物に損壊が生じ、住民等の生命、または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域のことを表します。
特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

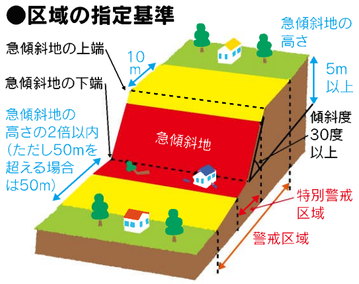
急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

前兆現象

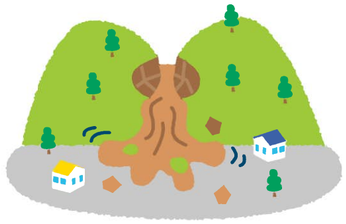
- ■がけに割れ目が見える。
- ■がけから水が噴出する。
- ■がけから小石がパラパラと落ちてくる。

●区域の指定基準



土石流

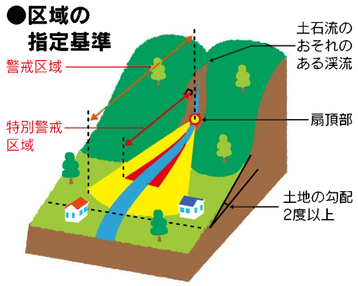
山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。



前兆現象

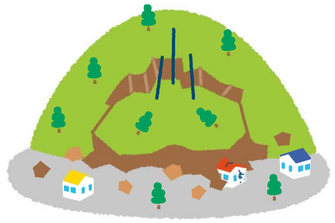
- ■山鳴りがする。
- ■川の水が濁り、流木が混ざり始める。
- ■雨が降り続いているのに川の水位が下がる。

●区域の指定基準



地すべり

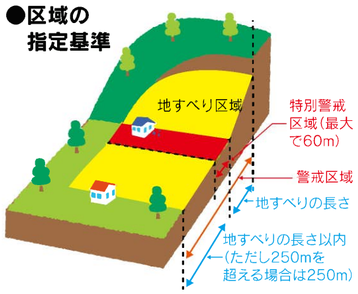
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



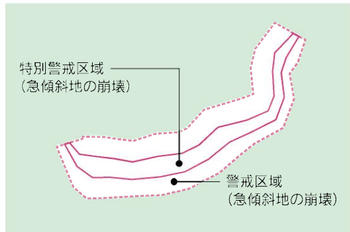
前兆現象

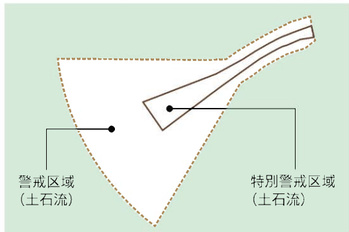
- ■地面にひび割れができる。
- ■沢や井戸の水が濁る。
- ■斜面から水が噴き出す。

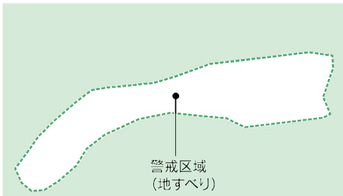
●区域の指定基準



ため池ハザードマップにおける表示内容







※市内に特別警戒区域（地すべり）はありません。

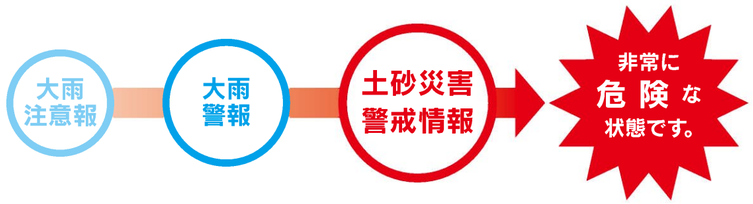
土砂災害警戒情報

危険が迫ってきたら

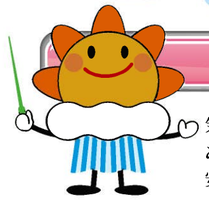
大雨警報発表後も雨が降り続き、土砂災害の発生の危険性が高まったときに、佐賀県と佐賀地方気象台が共同で土砂災害警戒情報を発表します。
土砂災害警戒情報が発表されたときは『いつ土砂災害が起きてもおかしくない』という非常に危険な状態です。
情報は市町村単位で発表されるので、住民のみなさんの自主避難の判断に活用できます。

土砂災害警戒情報が発表されたら

- ●伊万里市が発表する避難情報に注意する。
- ●ハザードマップを再確認する。
- ●周囲の様子をよく観察し、前兆現象を確認したらすぐに避難する。



土砂キキクル



気象庁がインターネットで発信するキキクル（危険度分布）は、大雨による災害から、あなたやご家族の大切な命を守るための情報です。災害発生の危険を察知し、安全なうちに避難するために、キキクルの情報をお役立てください。

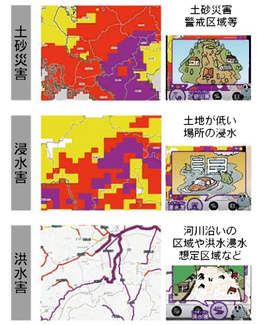
1 キキクルはどんなときに使う

2 キキクルにアクセスする

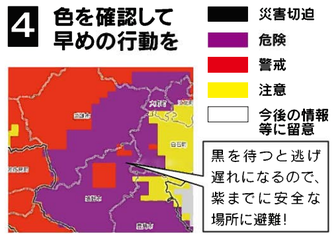
インターネットで「キキクル」を検索しましょう。

3 身の周りに危険がせまっていないか確認

自分や家族がいる場所に危険がせまっていないか確認しましょう！



4 色を確認して早めの行動を



赤や紫がなくても今後の雨を確認しよう！

確認した時点の土砂キキクル　　3時間後の雨の予想

いざ、避難　土砂災害時の注意点

■危険を感じたらすぐに避難

土砂災害の前兆現象に気付いたり土砂災害警戒情報が発表されたりした場合など、身の回りの危険を感じたら、早めに近くの安全な場所へ避難してください。

■やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。

■屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等（イエローゾーン・レッドゾーン）を通らないようにしましょう。
ハザードマップで区域を確認してください。

■雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が大量に土の中に残っています。雨がやみ、大雨警報が解除された後でも、急傾斜地などで土砂災害が発生するおそれがあるので注意しましょう。

避　難　に　つ　い　て

避難のポイント

■避難する前に

電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

■車での避難は控えて

車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

■一人暮らしの高齢者などには気配りを

近所の一人暮らしの高齢者や病気の人がいる場合は、声を掛け合って一緒に避難しましょう。

■道路を通る場合

冠水には十分注意して、できるだけ高いところにある道路を選びましょう。

■速やかに避難しましょう

避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には消防団員などの指示に従いましょう。

ここがポイント　避難の考え方(立退き避難/屋内安全確保)

「避難しよう」と判断するのはあなた自身です。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。

実際に災害が発生せず、避難したことが「空振り」に終わったとしても、「被害がなくて幸運だった」と前向きに受け止めましょう。

過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。過去より悪い方向に状況が進む場合があります。

夜間から明け方にかけて大雨や台風の接近が予想される場合は、明るい時間帯での避難を呼びかけます。早めの避難行動を心がけてください。

避難行動の心得

想定される浸水の深さを確認しましょう。

3.0m以上の浸水

- ●2階以上が浸水
- ●水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある

0.5m以上～3.0m未満の浸水

- ●1階以上が浸水
- ●水流が強い場合は、木造住宅が倒壊する危険がある

0.5m未満の浸水

- ●床下浸水
- ●大人のヒザ程度
- ●浸水深がヒザ上だと歩行は危険

必ず！ → 立退き避難

必ず！ → 立退き避難

避難がかえって危険な場合は → 屋内安全確保

避難がかえって危険な場合は → 屋内安全確保

周囲の情報に注意 → 屋内安全確保

立退き避難

- ●避難場所や安全な場所へ移動する
- ●水平避難

屋内安全確保

- ●むやみな移動はかえって危険
- ●自宅または近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる
- ●垂直避難

伊万里市内の避難所一覧(ため池決壊・土砂災害時)

■ **指定緊急避難場所**　切迫した災害の危険から命を守るため避難する場所

● **指定避難所**　災害発生時に被災者が一定期間滞在することができる施設

※強い台風が直撃するおそれがあるときなどは、各地区のコミュニティーセンターに避難することができますので、雨風が強くなる前に、早めに避難しましょう。
※周囲の状況を観察し、避難場所等が安全であることを確認してください。

指定緊急避難場所	指定避難所	名称	場所	住所(伊万里市)	電話番号(0955)	災害種別 ○:使用可能 ×:使用不可 △:必要に応じて使用可能		掲載ページ
						ため池	土砂災害	
	●	伊万里コミュニティセンター	館内	松島町350-4	23-9988	×	○	12
■	●	伊万里小学校	体育館・グラウンド	脇田町1419-1	23-4128	○	○	12
■	●	啓成中学校	体育館・グラウンド	木須町131	22-3600	○	○	12
	●	牧島コミュニティセンター	館内	木須町5832-2	22-5783	○	○	13
	●	大坪コミュニティセンター	館内	大坪町甲2863-1	23-9898	○	○	12
■	●	大坪小学校	体育館・グラウンド	大坪町甲2501-3	23-6148	○	○	12
	●	伊万里中学校	体育館	立花町4063-1	23-4158	○	○	12
	●	立花コミュニティセンター	館内	立花町1891-79	20-4567	○	○	12
■	●	立花小学校	体育館・グラウンド	立花町1901-1	23-2100	○	○	12
	●	同和教育集会所	館内	立花町1542-29	22-7462	○	○	12
	●	大川内コミュニティセンター	館内	大川内町丙2410-1	23-2774	○	○	17
■	●	大川内小学校	体育館・グラウンド	大川内町甲3280-1	23-2542	×	○	17
	●	黒川コミュニティセンター	館内	黒川町塩屋504-1	27-0001	○	○	23
■	●	青嶺中学校	体育館・グラウンド	黒川町福田66	27-0053	○	○	23・27
■		東黒川運動広場	グラウンド	黒川町畑川内2053-4	―――	○	○	25
	●	波多津コミュニティセンター	館内	波多津町辻2989-5	25-0001	○	○	27・31
■	●	波多津小学校	校舎・駐車場	波多津町筒井11	25-0064	○	○	29・31
	●	南波多コミュニティセンター	館内	南波多町井手野2685-1	24-2001	○	○	16
	●	南波多ミニスポーツ会館	館内	南波多町井手野2896	24-2001	○	○	16
■		旧南波多中学校	グラウンド	南波多町井手野2900	―――	○	○	16
	●	大川コミュニティセンター	館内	大川町大川野3340-1	29-2001	×	○	34・37
■	●	大川小学校	体育館・グラウンド	大川町大川野2050-1	29-2005	○	○	34
■	●	東陵中学校	体育館・グラウンド	松浦町提川200	26-2012	○	○	33・39
	●	大川体育館	体育館	大川町大川野3340-1	29-2001	×	○	34・37
	●	松浦コミュニティセンター	館内	松浦町山形5490-2	26-2001	○	○	39
■	●	松浦小学校	体育館・グラウンド	松浦町桃川4430-2	26-2050	○	○	39
■		松浦運動広場	敷地内	松浦町山形5490	―――	○	○	39
	●	二里コミュニティセンター	館内	二里町大里乙321-3	23-3024	○	○	11
	●	二里小学校	体育館	二里町大里乙284-1	23-3463	○	○	11
	●	国見台体育館	体育館	二里町大里甲2153-1	23-2632	○	○	11
■		国見台公園	敷地内	二里町大里甲2153-1	―――	○	○	11
■	●	国見中学校	体育館・グラウンド	東山代町長浜1750	23-5195	○	○	11
	●	東山代コミュニティセンター	館内	東山代町里105	28-0001	○	○	44
■	●	東山代小学校	体育館・グラウンド	東山代町里70-1	28-0024	×	○	44
	●	夢耕房たきの	館内	東山代町川内野4518-1	28-0001	△(2階以上)	○	45
■		旧滝野小中学校	グラウンド	東山代町滝川内3149	―――	×	○	45
	●	山代コミュニティセンター	館内	山代町久原2697-2	28-2001	○	○	47・50
	●	山代東小学校	体育館	山代町久原65	28-2009	×	○	47・50
■	●	山代西小学校	体育館・グラウンド	山代町西分4475-1	28-3015	○	○	49
■	●	山代中学校	体育館・グラウンド	山代町久原3080-1	28-2026	×	○	47・50
■		浦ノ崎運動広場	グラウンド	山代町立岩390-1	―――	×	○	49
■		伊万里湾大橋球技場	グラウンド	山代町楠久津145-25	―――	○	○	47・50
■		牧島小学校	グラウンド	瀬戸町216-1	―――	×	○	13

福祉避難所　大規模災害などで避難生活が長期化するおそれがあり、一般の避難所での生活が困難な要配慮者(高齢者、障がいのある人など)を受け入れるために開設する、二次的な避難所です。
※災害の状況や避難者の状況を踏まえて、市が開設し、開設場所は別途お知らせします。

ため池ハザードマップについて

伊万里市には1,000池を超えるため池があり、農業用水の確保のため水をためておき、必要に応じ田畑などに水を送ることを目的としています。

また、豪雨時には雨水を一時的にためる洪水調節や土砂流出を防止する役割を果たすなど、地域に欠かせない多面的な機能を有する施設となっています。

この伊万里市ため池ハザードマップは、豪雨や地震による決壊に対し、避難の心構えや具体的な避難方法など、市民の方々の役に立つ情報をご紹介しています。

確認したいポイント

自宅のある場所や周辺のため池浸水想定区域・土砂災害警戒区域など

避難場所の位置

自宅から避難場所へ向かう経路

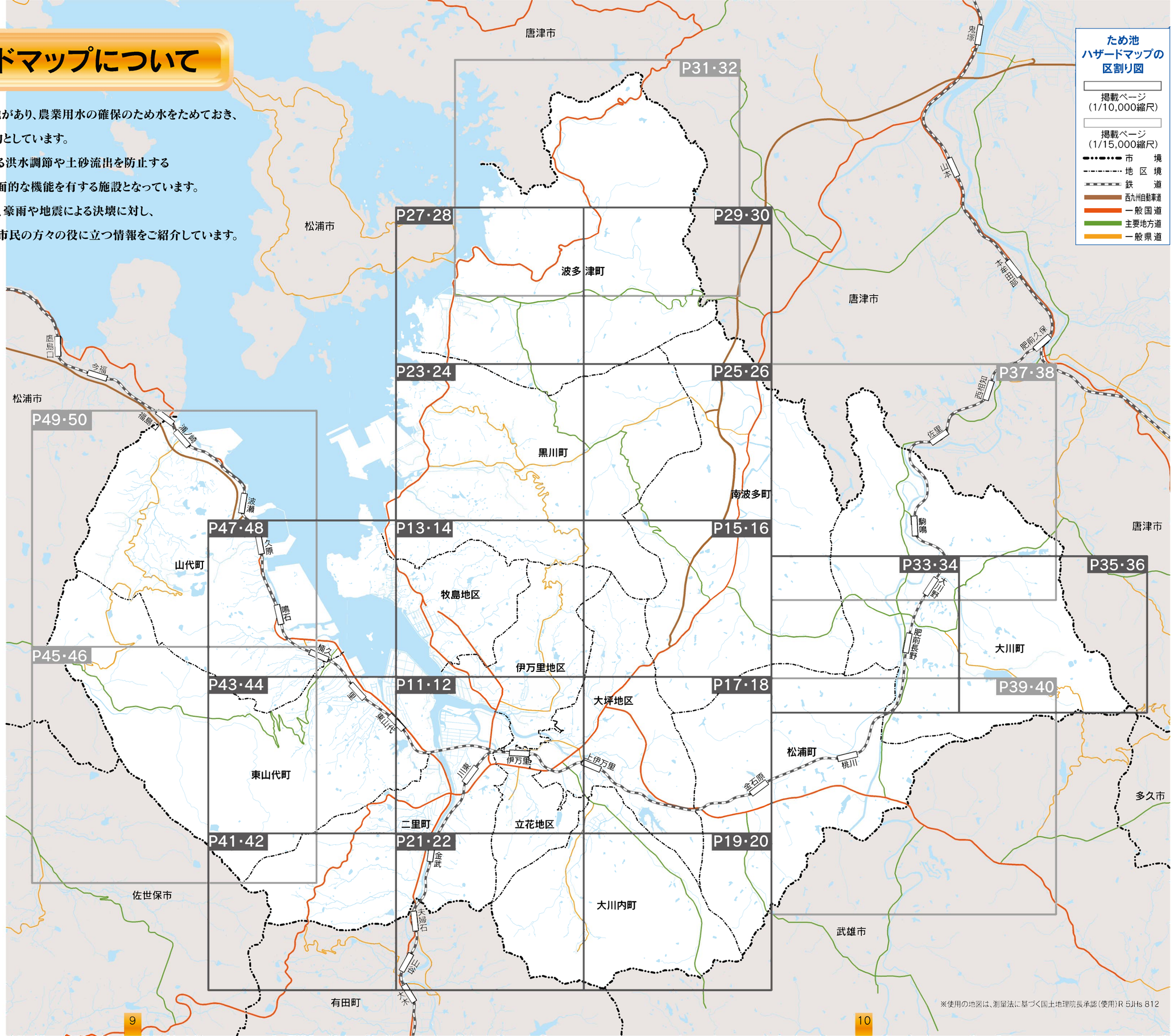
※災害時に危険と思われる箇所（河川より低い道路、防護柵のない水路など）を自分の目で見て確認しておくことも大事です。

このハザードマップは、ため池が満水時に大規模地震や大雨によって決壊した場合に想定される、浸水想定区域や浸水深、避難場所や避難方向を示しています。

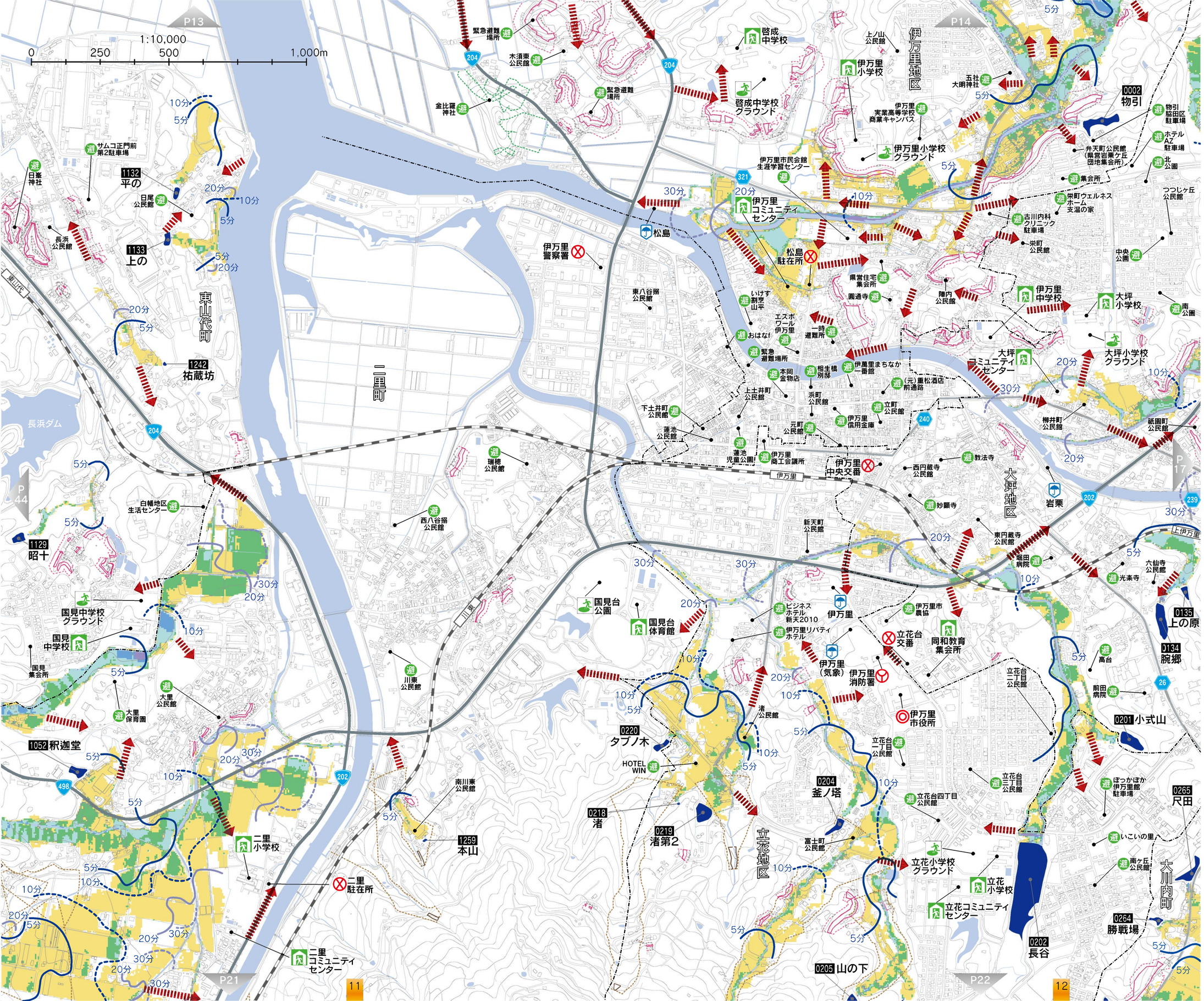
地図に掲載した情報は、佐賀県の浸水解析結果や、市と地域の方々による話し合いによる、避難場所や避難方向を記載しています。

自宅が浸水した場合の浸水深を確認し、「避難について」（7ページ）を参考に危険を感じたら早めの避難を心掛けましょう。災害の状況によっては、浸水範囲以外においても被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

このハザードマップは、防災重点農業用ため池からの氾濫を記載しています。
（ため池以外からの氾濫は「いまりんマップ」をご覧ください。）



※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

0002	物引	堤高	5.8 m
		総貯水量	15.00千㎥
0134	腕郷	堤高	5.6 m
		総貯水量	10.50千㎥
0135	上の原	堤高	3.5 m
		総貯水量	1.50千㎥
0201	小式山	堤高	4.0 m
		総貯水量	8.00千㎥
0202	長谷	堤高	7.2 m
		総貯水量	87.00千㎥
0204	釜ノ塔	堤高	4.7 m
		総貯水量	2.60千㎥
0205	山の下	堤高	5.7 m
		総貯水量	6.00千㎥
0218	渚	堤高	2.7 m
		総貯水量	0.50千㎥
0219	渚第2	堤高	5.1 m
		総貯水量	7.00千㎥
0220	タブノ木	堤高	2.4 m
		総貯水量	1.50千㎥
0264	勝戦場	堤高	3.2 m
		総貯水量	1.10千㎥
0265	尺田	堤高	4.0 m
		総貯水量	3.00千㎥
1052	釈迦堂	堤高	3.4 m
		総貯水量	1.80千㎥
1129	昭十	堤高	8.8 m
		総貯水量	1.20千㎥
1132	平の	堤高	2.5 m
		総貯水量	1.20千㎥
1133	上の	堤高	2.8 m
		総貯水量	1.80千㎥
1242	祐蔵坊	堤高	2.3 m
		総貯水量	0.30千㎥
1259	本山	堤高	1.6 m
		総貯水量	0.50千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

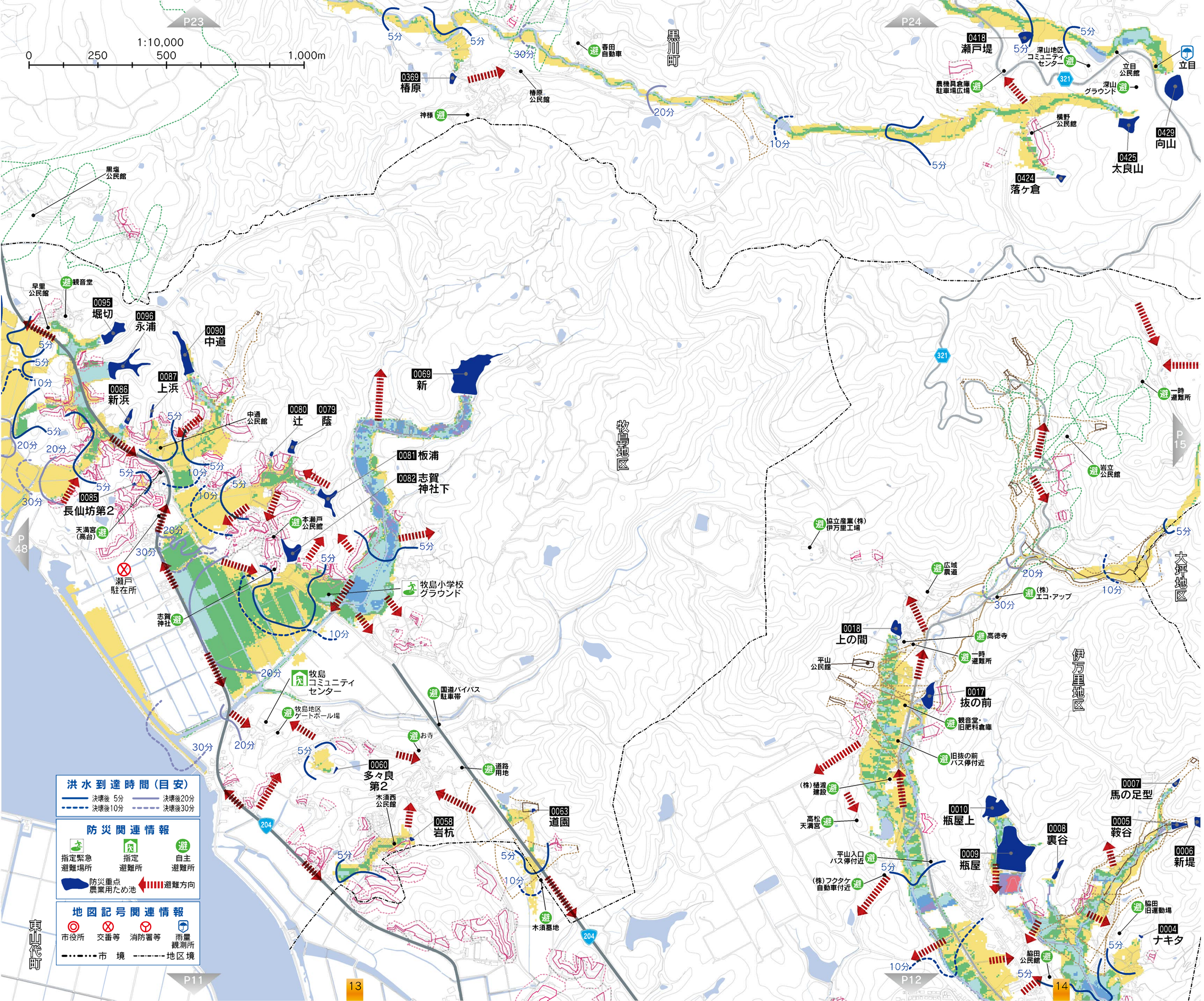
土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

0004	ナキタ	堤高	3.6 m
		総貯水量	0.90千㎥
0005	鞍谷	堤高	5.7 m
		総貯水量	9.00千㎥
0006	新堤	堤高	7.5 m
		総貯水量	8.00千㎥
0007	馬の足型	堤高	5.4 m
		総貯水量	3.00千㎥
0008	裏谷	堤高	6.0 m
		総貯水量	3.50千㎥
0009	瓶屋	堤高	7.7 m
		総貯水量	60.00千㎥
0010	瓶屋上	堤高	6.6 m
		総貯水量	10.50千㎥
0017	抜の前	堤高	6.1 m
		総貯水量	12.00千㎥
0018	上の間	堤高	6.4 m
		総貯水量	10.00千㎥
0058	岩杭	堤高	3.0 m
		総貯水量	3.00千㎥
0060	多々良第2	堤高	2.7 m
		総貯水量	0.60千㎥
0063	道園	堤高	3.3 m
		総貯水量	1.10千㎥
0069	新	堤高	9.7 m
		総貯水量	120.00千㎥
0079	蔭	堤高	4.0 m
		総貯水量	2.00千㎥
0080	辻	堤高	2.4 m
		総貯水量	0.60千㎥
0081	板浦	堤高	3.6 m
		総貯水量	6.00千㎥
0082	志賀神社下	堤高	2.0 m
		総貯水量	3.00千㎥
0085	長仙坊第2	堤高	1.6 m
		総貯水量	0.10千㎥
0086	新浜	堤高	3.0 m
		総貯水量	4.00千㎥
0087	上浜	堤高	2.4 m
		総貯水量	1.00千㎥
0090	中道	堤高	3.4 m
		総貯水量	12.00千㎥
0095	堀切	堤高	4.0 m
		総貯水量	10.00千㎥
0096	永浦	堤高	5.9 m
		総貯水量	16.80千㎥
0369	椿原	堤高	2.7 m
		総貯水量	1.80千㎥
0418	瀬戸堤	堤高	4.8 m
		総貯水量	4.50千㎥
0424	落ケ倉	堤高	3.7 m
		総貯水量	2.10千㎥
0425	太良山	堤高	3.6 m
		総貯水量	8.00千㎥
0429	向山	堤高	7.5 m
		総貯水量	14.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 812

洪水到達時間(目安)

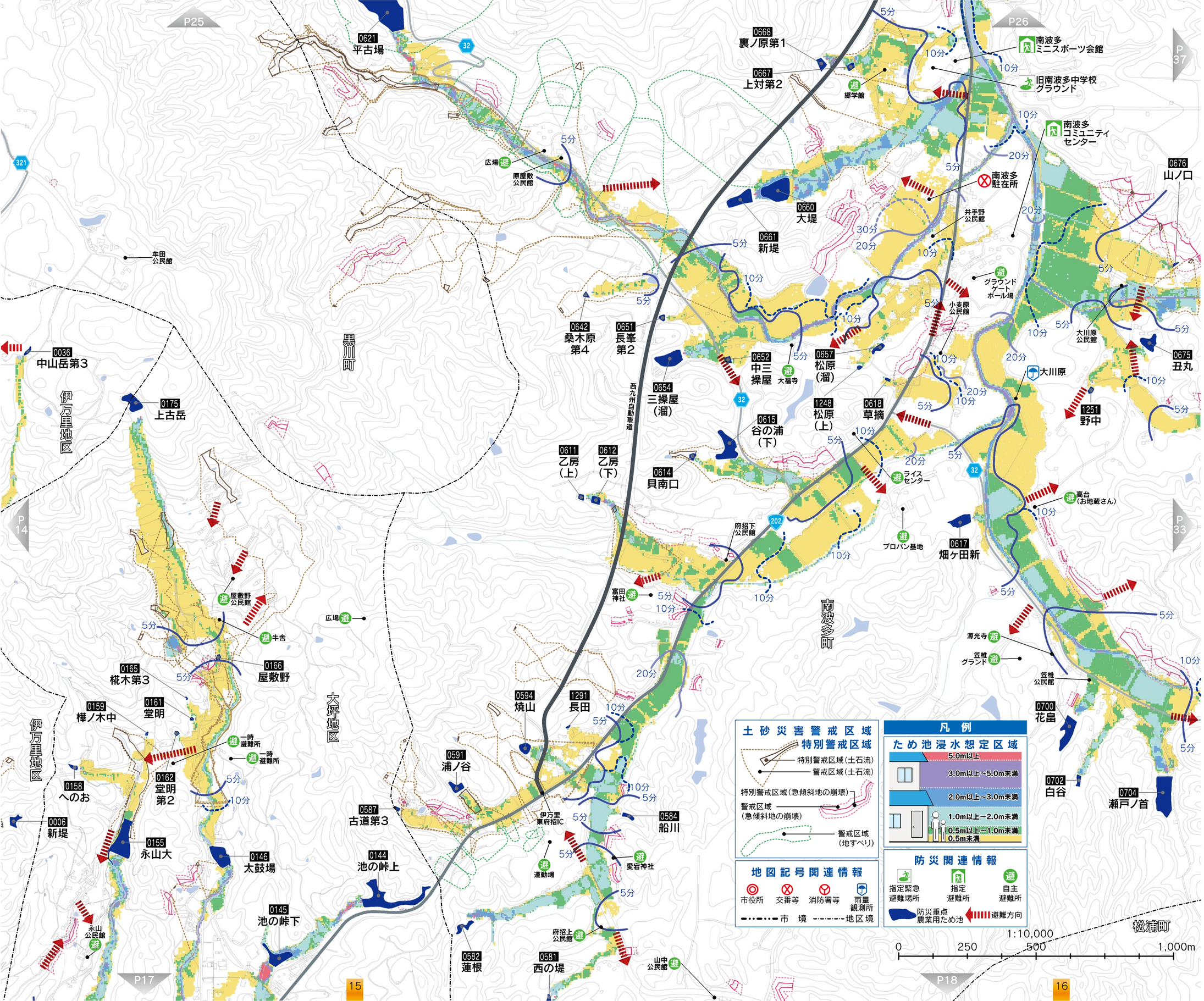
- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境



防災重点農業用ため池一覧

0006	新堤	堤高	7.5 m
		総貯水量	8.00千㎥
0036	中山岳第3	堤高	3.2 m
		総貯水量	1.20千㎥
0144	池の峠上	堤高	8.1 m
		総貯水量	60.00千㎥
0145	池の峠下	堤高	7.2 m
		総貯水量	9.00千㎥
0146	太鼓場	堤高	7.0 m
		総貯水量	21.00千㎥
0155	永山大	堤高	10.0 m
		総貯水量	40.00千㎥
0158	へのお	堤高	3.3 m
		総貯水量	1.60千㎥
0159	樺ノ木中	堤高	1.6 m
		総貯水量	0.20千㎥
0161	堂明	堤高	2.9 m
		総貯水量	0.60千㎥
0162	堂明第2	堤高	2.6 m
		総貯水量	0.50千㎥
0165	桃木第3	堤高	2.7 m
		総貯水量	0.30千㎥
0166	屋敷野	堤高	2.7 m
		総貯水量	0.60千㎥
0175	上古岳	堤高	9.9 m
		総貯水量	17.50千㎥
0581	西の堤	堤高	4.6 m
		総貯水量	4.00千㎥
0582	蓮根	堤高	3.0 m
		総貯水量	55.00千㎥
0584	船川	堤高	5.5 m
		総貯水量	2.80千㎥
0587	古道第3	堤高	2.3 m
		総貯水量	0.60千㎥
0591	浦ノ谷	堤高	4.4 m
		総貯水量	2.50千㎥
0594	焼山	堤高	5.4 m
		総貯水量	7.00千㎥
0611	乙房(上)	堤高	7.2 m
		総貯水量	4.50千㎥
0612	乙房(下)	堤高	7.5 m
		総貯水量	7.50千㎥
0614	貝南口	堤高	3.2 m
		総貯水量	1.20千㎥
0615	谷の浦(下)	堤高	6.4 m
		総貯水量	18.00千㎥
0617	畑ケ田新	堤高	5.1 m
		総貯水量	15.00千㎥
0618	草摘	堤高	3.5 m
		総貯水量	0.60千㎥
0621	平古場	堤高	11.4 m
		総貯水量	63.00千㎥
0642	桑木原第4	堤高	4.0 m
		総貯水量	1.00千㎥
0651	長峯第2	堤高	2.4 m
		総貯水量	0.50千㎥
0652	中三操屋	堤高	1.4 m
		総貯水量	0.50千㎥
0654	三操屋(溜)	堤高	7.7 m
		総貯水量	18.00千㎥
0657	松原(溜)	堤高	3.2 m
		総貯水量	2.30千㎥
0660	大堤	堤高	7.2 m
		総貯水量	42.00千㎥
0661	新堤	堤高	7.8 m
		総貯水量	45.00千㎥
0667	上対第2	堤高	4.3 m
		総貯水量	0.70千㎥
0668	裏ノ原第1	堤高	6.7 m
		総貯水量	9.00千㎥
0675	丑丸	堤高	2.5 m
		総貯水量	4.00千㎥
0676	山ノ口	堤高	1.9 m
		総貯水量	1.00千㎥
0700	花畠	堤高	4.4 m
		総貯水量	12.30千㎥
0702	白谷	堤高	3.7 m
		総貯水量	4.80千㎥
0704	瀬戸ノ首	堤高	8.0 m
		総貯水量	93.00千㎥
1248	松原(上)	堤高	2.4 m
		総貯水量	0.20千㎥
1251	野中	堤高	1.4 m
		総貯水量	0.50千㎥
1291	長田	堤高	2.0 m
		総貯水量	0.10千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

洪水到達時間(目安)

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 812

凡例

土砂災害警戒区域

- 特別警戒区域
  - 特別警戒区域(土石流)
  - 警戒区域(土石流)
  - 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
  - 警戒区域(地すべり)

ため池浸水想定区域

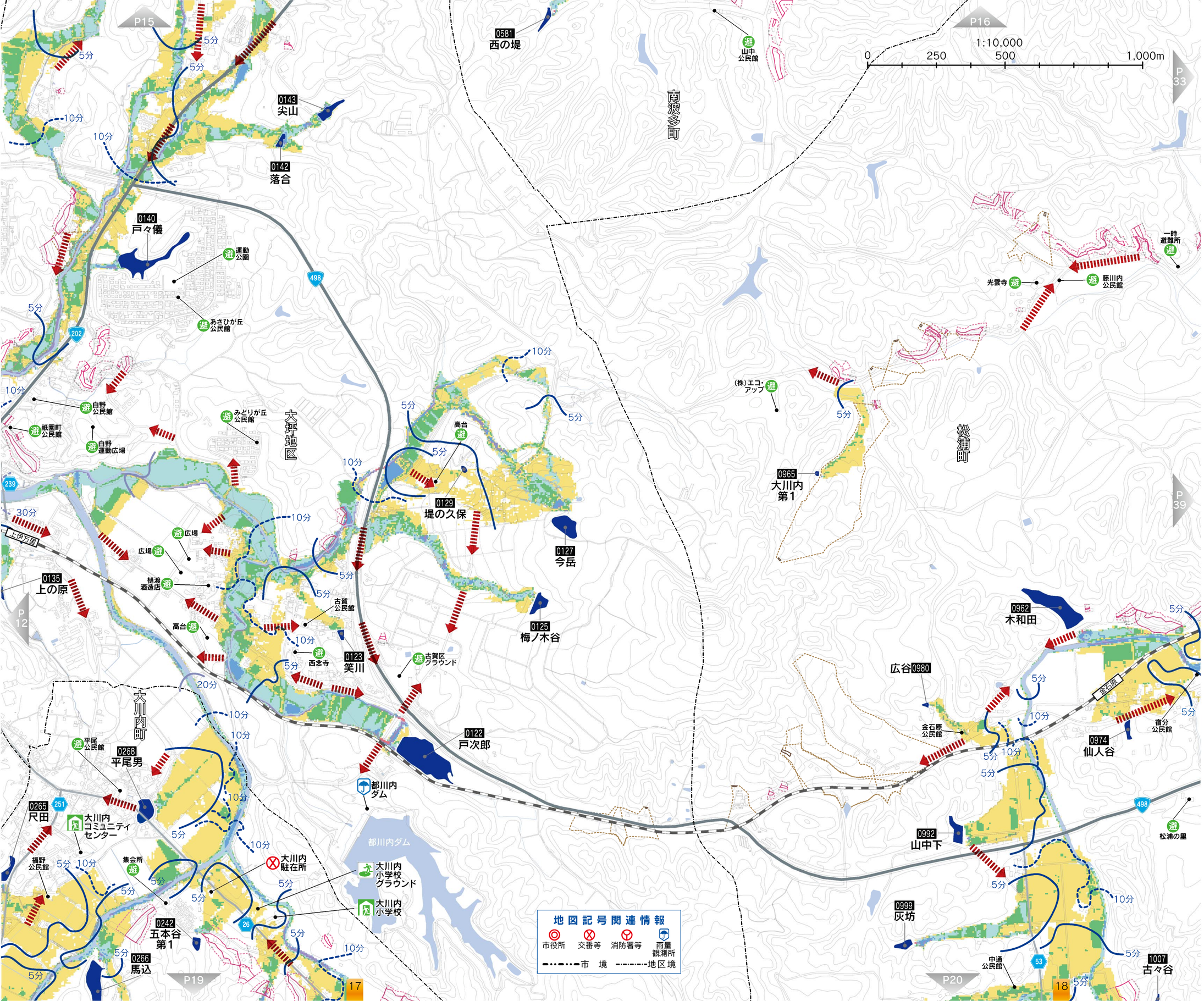
- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向



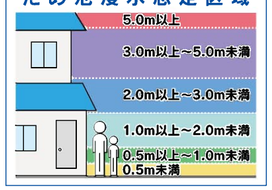
防災重点農業用ため池一覧

0122	戸次郎	堤高	8.5 m
		総貯水量	80.00千㎥
0123	笑川	堤高	2.1 m
		総貯水量	0.60千㎥
0125	梅ノ木谷	堤高	13.5 m
		総貯水量	28.00千㎥
0127	今岳	堤高	9.4 m
		総貯水量	20.00千㎥
0129	堤の久保	堤高	2.7 m
		総貯水量	0.40千㎥
0135	上の原	堤高	3.5 m
		総貯水量	1.50千㎥
0140	戸々儀	堤高	6.2 m
		総貯水量	39.00千㎥
0142	落合	堤高	4.3 m
		総貯水量	4.50千㎥
0143	尖山	堤高	10.9 m
		総貯水量	21.00千㎥
0242	五本谷第1	堤高	3.3 m
		総貯水量	3.50千㎥
0265	尺田	堤高	4.0 m
		総貯水量	3.00千㎥
0266	馬込	堤高	7.4 m
		総貯水量	28.80千㎥
0268	平尾男	堤高	3.7 m
		総貯水量	4.80千㎥
0581	西の堤	堤高	4.6 m
		総貯水量	4.00千㎥
0962	木和田	堤高	8.6 m
		総貯水量	54.00千㎥
0965	大川内第1	堤高	3.8 m
		総貯水量	1.30千㎥
0974	仙人谷	堤高	2.7 m
		総貯水量	3.00千㎥
0980	広谷	堤高	2.7 m
		総貯水量	1.20千㎥
0992	山中下	堤高	3.8 m
		総貯水量	7.50千㎥
0999	灰坊	堤高	4.2 m
		総貯水量	18.20千㎥
1007	古々谷	堤高	3.7 m
		総貯水量	1.40千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域



洪水到達時間（目安）

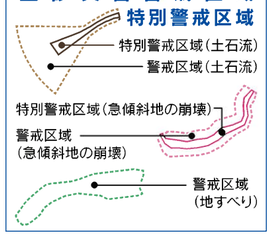
- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

土砂災害警戒区域

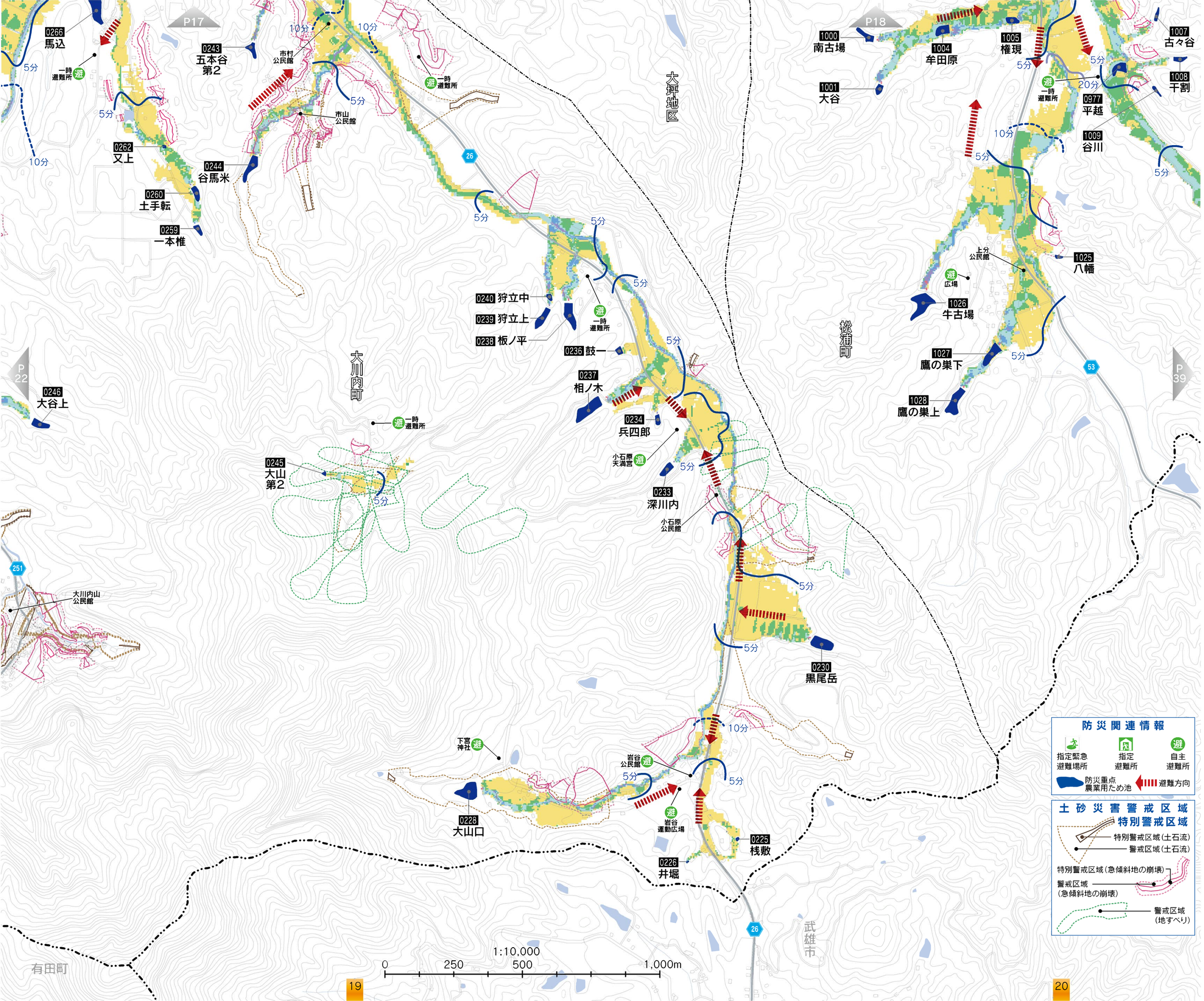
- 特別警戒区域
- 警戒区域



地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

0225	桟敷	堤高	4.3 m
		総貯水量	1.20千㎥
0226	井堀	堤高	3.1 m
		総貯水量	0.30千㎥
0228	大山口	堤高	7.5 m
		総貯水量	14.00千㎥
0230	黒尾岳	堤高	7.9 m
		総貯水量	14.80千㎥
0233	深川内	堤高	6.0 m
		総貯水量	4.50千㎥
0234	兵四郎	堤高	3.8 m
		総貯水量	1.40千㎥
0236	鼓一	堤高	2.5 m
		総貯水量	0.30千㎥
0237	相ノ木	堤高	7.3 m
		総貯水量	14.00千㎥
0238	板ノ平	堤高	7.8 m
		総貯水量	20.00千㎥
0239	狩立上	堤高	7.1 m
		総貯水量	4.80千㎥
0240	狩立中	堤高	3.15 m
		総貯水量	1.60千㎥
0243	五本谷第2	堤高	4.0 m
		総貯水量	5.00千㎥
0244	谷馬米	堤高	5.4 m
		総貯水量	6.00千㎥
0245	大山第2	堤高	3.6 m
		総貯水量	0.40千㎥
0246	大谷上	堤高	6.4 m
		総貯水量	6.00千㎥
0259	一本椎	堤高	3.6 m
		総貯水量	2.00千㎥
0260	土手転	堤高	4.3 m
		総貯水量	3.00千㎥
0262	又上	堤高	2.9 m
		総貯水量	0.30千㎥
0266	馬込	堤高	7.4 m
		総貯水量	28.80千㎥
0977	平越	堤高	4.1 m
		総貯水量	16.00千㎥
1000	南古場	堤高	6.5 m
		総貯水量	28.00千㎥
1001	大谷	堤高	5.7 m
		総貯水量	16.00千㎥
1004	牟田原	堤高	5.0 m
		総貯水量	24.50千㎥
1005	権現	堤高	4.4 m
		総貯水量	15.00千㎥
1007	古々谷	堤高	3.7 m
		総貯水量	1.40千㎥
1008	干割	堤高	4.3 m
		総貯水量	2.00千㎥
1009	谷川	堤高	3.0 m
		総貯水量	1.00千㎥
1025	八幡	堤高	2.6 m
		総貯水量	0.30千㎥
1026	牛古場	堤高	8.2 m
		総貯水量	30.10千㎥
1027	鷹の巣下	堤高	4.5 m
		総貯水量	7.00千㎥
1028	鷹の巣上	堤高	6.2 m
		総貯水量	12.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

地図記号関連情報

市役所　交番等　消防署等　雨量観測所

市境　地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812

防災関連情報

指定緊急避難場所　指定避難所　自主避難所

防災重点農業用ため池　避難方向

土砂災害警戒区域

特別警戒区域

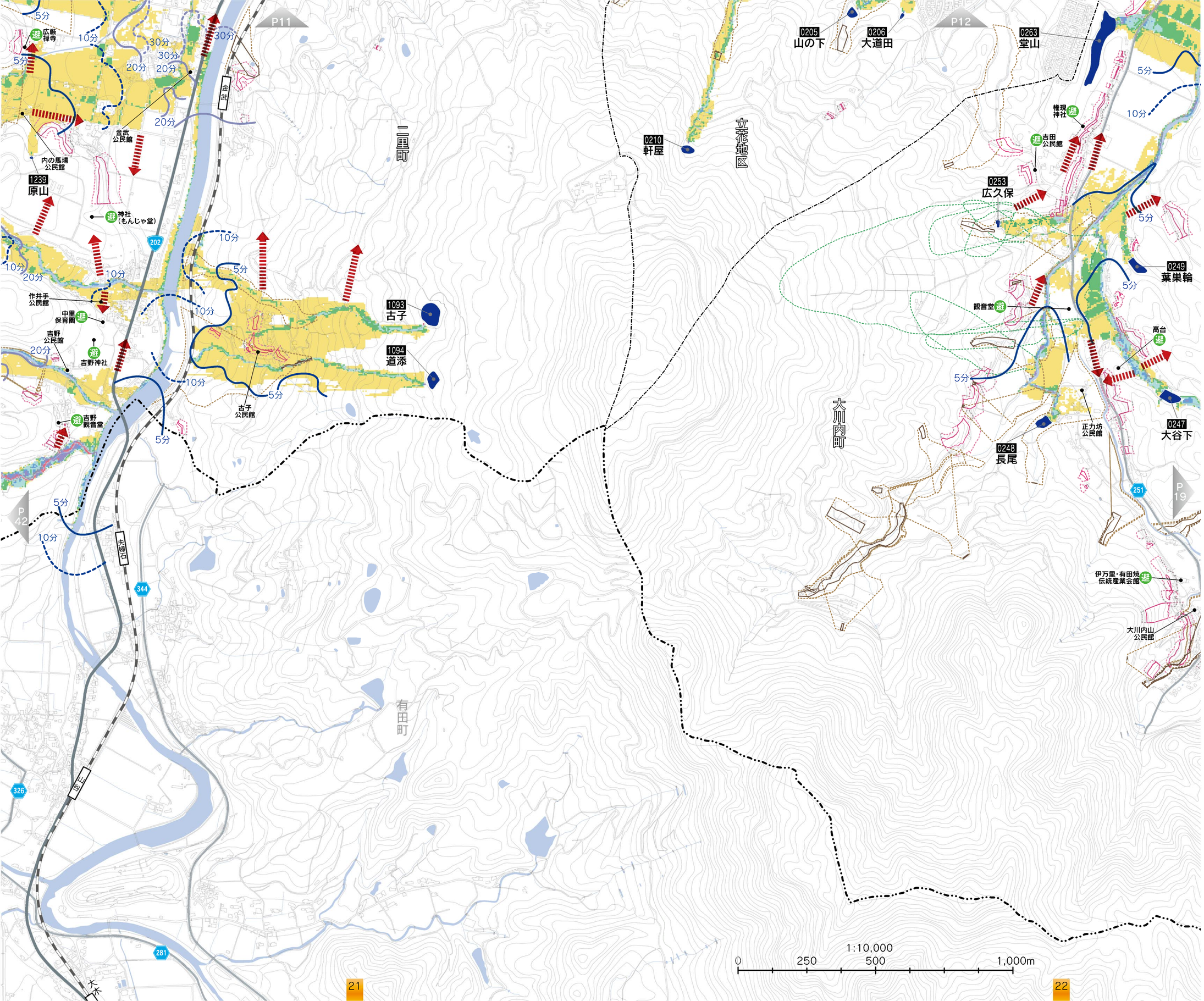
特別警戒区域（土石流）

警戒区域（土石流）

特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（急傾斜地の崩壊）

警戒区域（地すべり）



防災重点農業用ため池一覧

0205	山の下	堤高	5.7 m
		総貯水量	6.00千㎥
0206	大道田	堤高	3.2 m
		総貯水量	0.90千㎥
0210	軒屋	堤高	5.7 m
		総貯水量	7.50千㎥
0247	大谷下	堤高	4.6 m
		総貯水量	9.00千㎥
0248	長尾	堤高	6.6 m
		総貯水量	7.00千㎥
0249	葉巣輪	堤高	4.0 m
		総貯水量	2.10千㎥
0253	広久保	堤高	3.7 m
		総貯水量	12.00千㎥
0263	堂山	堤高	7.7 m
		総貯水量	35.00千㎥
1093	古子	堤高	7.5 m
		総貯水量	15.00千㎥
1094	道添	堤高	6.5 m
		総貯水量	8.00千㎥
1239	原山	堤高	2.7 m
		総貯水量	0.20千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

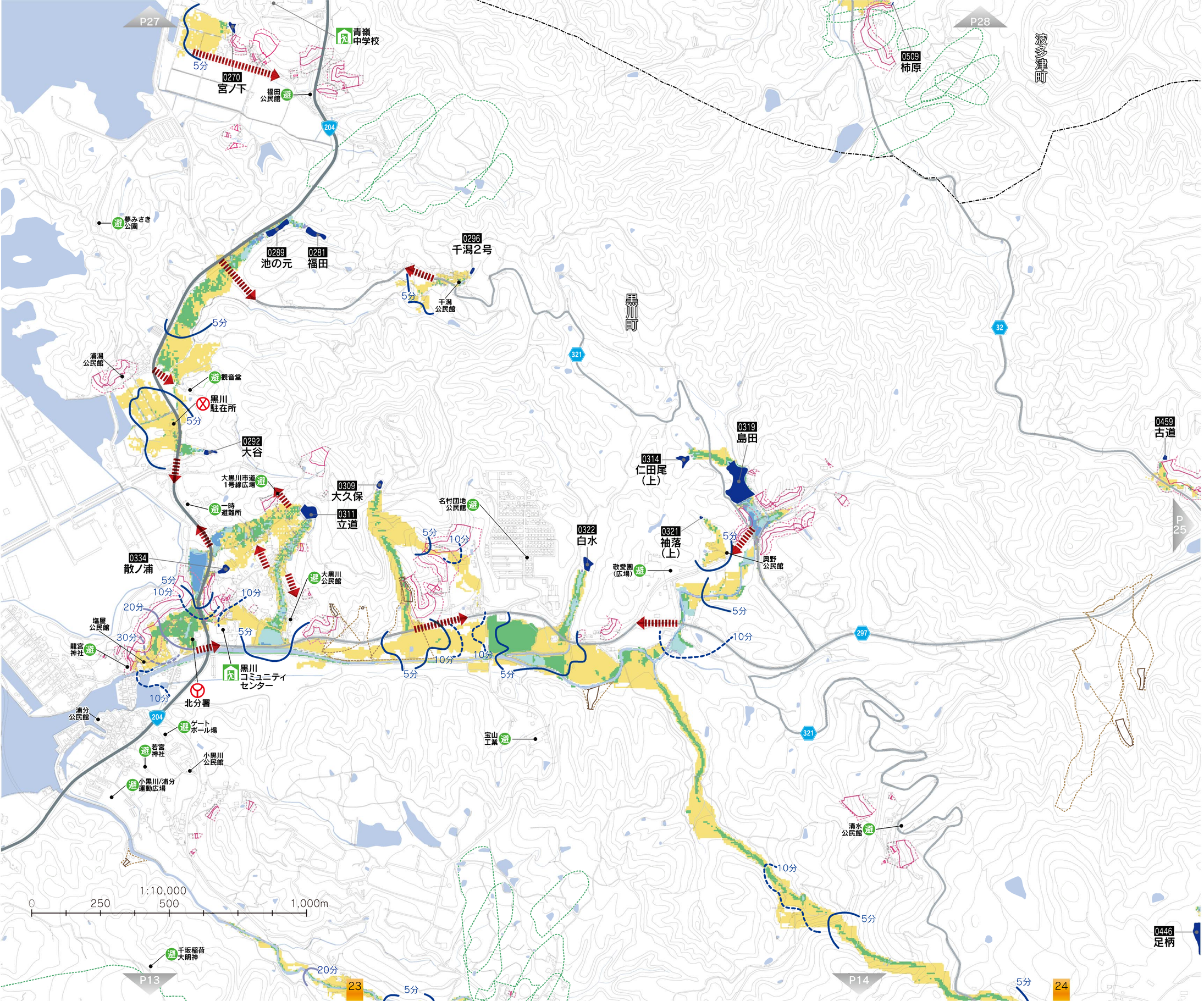
土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



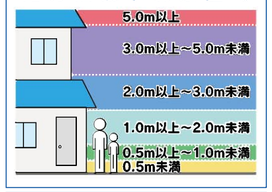
防災重点農業用ため池一覧

0270	宮ノ下	堤高	2.4 m
		総貯水量	1.20千㎥
0281	福田	堤高	4.0 m
		総貯水量	4.00千㎥
0289	池の元	堤高	5.1 m
		総貯水量	5.00千㎥
0292	大谷	堤高	4.5 m
		総貯水量	3.00千㎥
0296	千潟2号	堤高	2.4 m
		総貯水量	0.80千㎥
0309	大久保	堤高	7.0 m
		総貯水量	5.00千㎥
0311	立道	堤高	5.0 m
		総貯水量	7.60千㎥
0314	仁田尾（上）	堤高	5.1 m
		総貯水量	6.30千㎥
0319	島田	堤高	5.0 m
		総貯水量	25.00千㎥
0321	袖落（上）	堤高	2.3 m
		総貯水量	0.40千㎥
0322	白水	堤高	5.5 m
		総貯水量	10.00千㎥
0334	散ノ浦	堤高	2.9 m
		総貯水量	0.80千㎥
0446	足柄	堤高	10.6 m
		総貯水量	58.00千㎥
0459	古道	堤高	2.6 m
		総貯水量	0.60千㎥
0509	柿原	堤高	2.2 m
		総貯水量	0.20千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域



洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

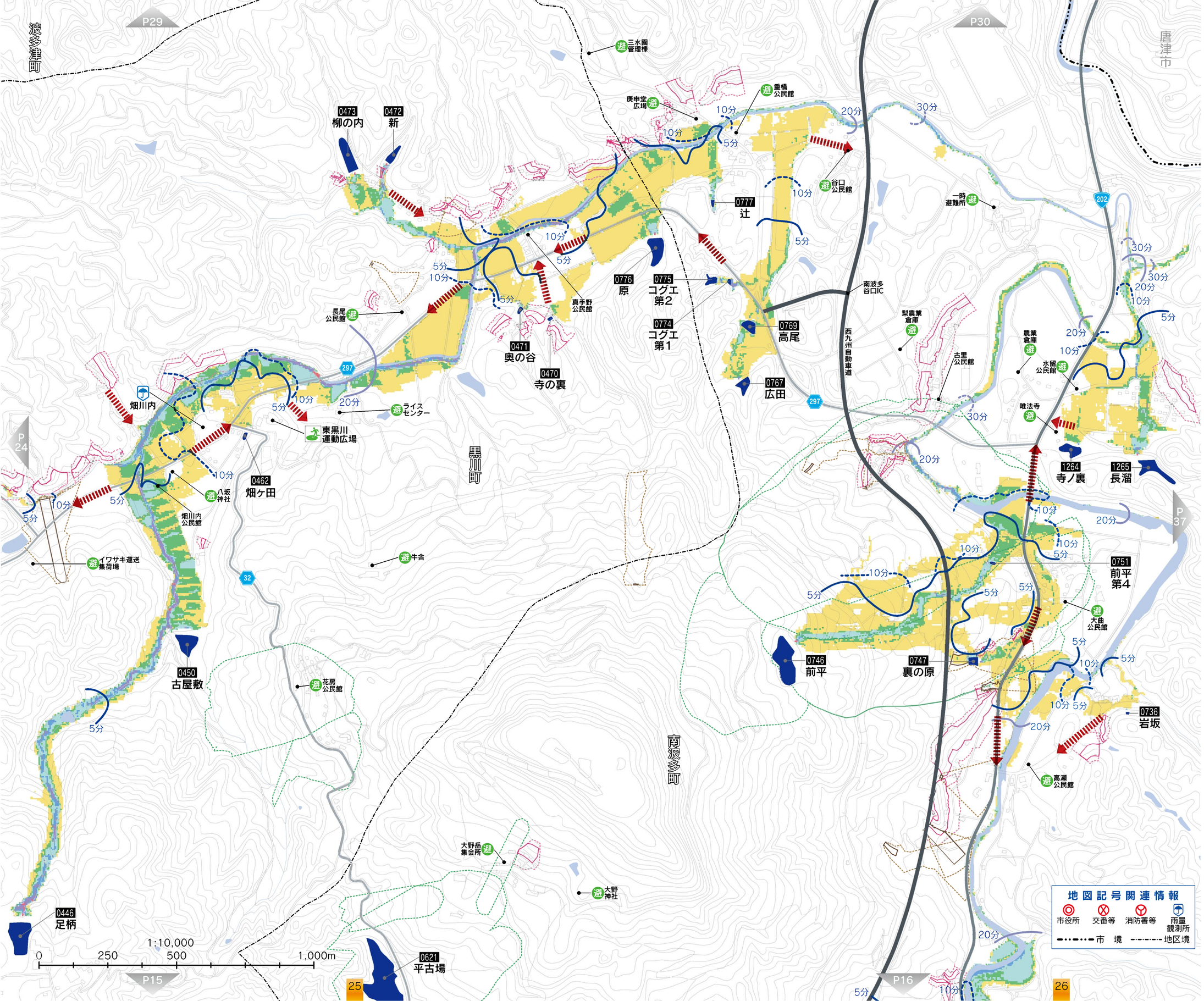
土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

0446	足柄	堤高	10.6 m
		総貯水量	58.00千㎥
0450	古屋敷	堤高	7.1 m
		総貯水量	21.00千㎥
0462	畑ケ田	堤高	2.2 m
		総貯水量	1.00千㎥
0470	寺の裏	堤高	3.0 m
		総貯水量	1.00千㎥
0471	奥の谷	堤高	4.1 m
		総貯水量	1.40千㎥
0472	新	堤高	7.6 m
		総貯水量	15.00千㎥
0473	柳の内	堤高	6.4 m
		総貯水量	12.00千㎥
0621	平古場	堤高	11.4 m
		総貯水量	63.00千㎥
0736	岩坂	堤高	1.6 m
		総貯水量	0.30千㎥
0746	前平	堤高	6.8 m
		総貯水量	44.20千㎥
0747	裏の原	堤高	6.5 m
		総貯水量	7.20千㎥
0751	前平第4	堤高	2.0 m
		総貯水量	0.30千㎥
0767	広田	堤高	4.8 m
		総貯水量	9.30千㎥
0769	高尾	堤高	3.8 m
		総貯水量	1.10千㎥
0774	コグエ第1	堤高	2.5 m
		総貯水量	1.10千㎥
0775	コグエ第2	堤高	5.0 m
		総貯水量	2.30千㎥
0776	原	堤高	5.3 m
		総貯水量	24.00千㎥
0777	辻	堤高	3.6 m
		総貯水量	3.40千㎥
1264	寺ノ裏	堤高	3.3 m
		総貯水量	3.00千㎥
1265	長溜	堤高	8.0 m
		総貯水量	12.40千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

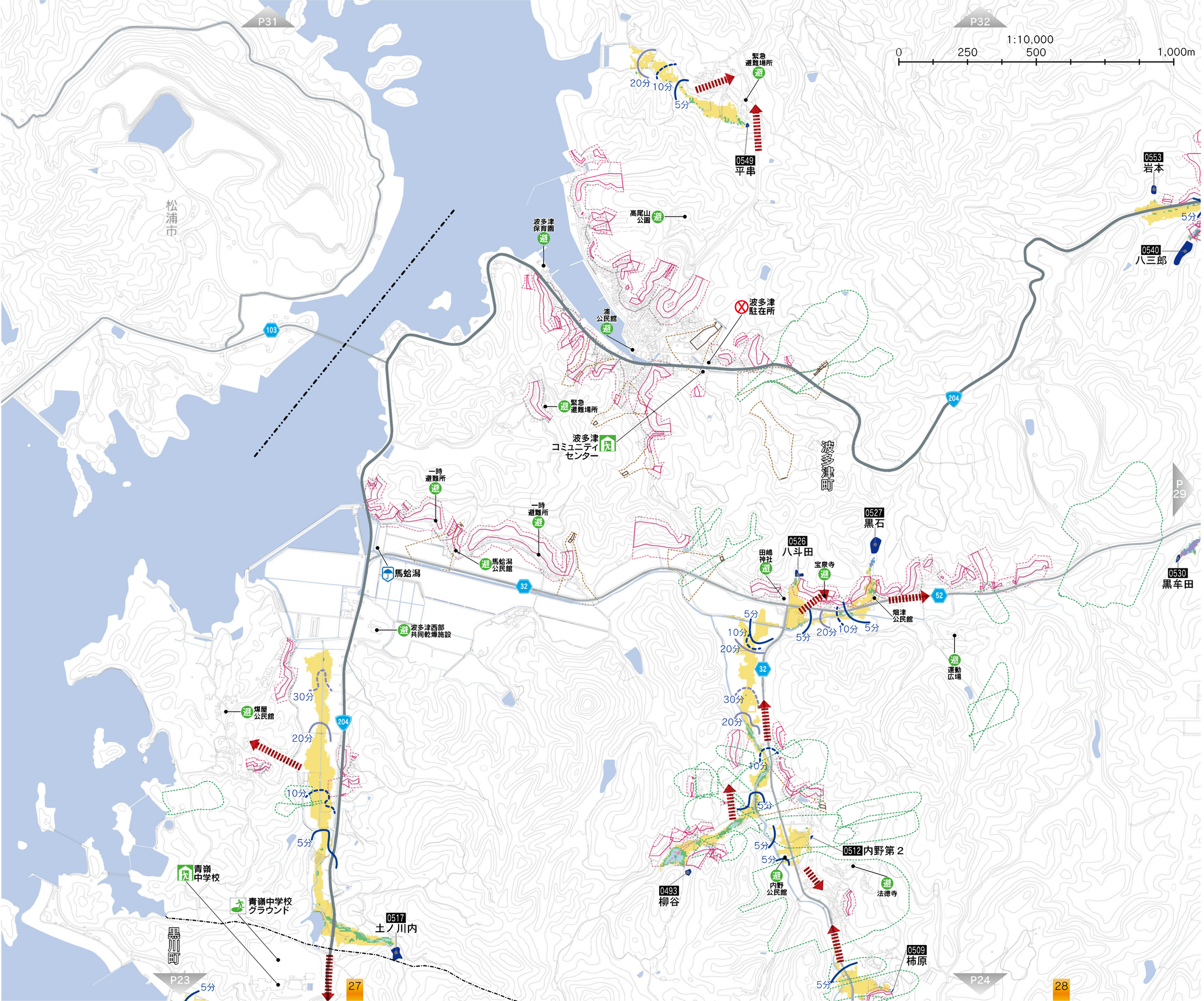
土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



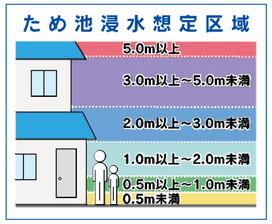
防災重点農業用ため池一覧

0493	柳谷	堤高	7.3 m
		総貯水量	6.00千㎥
0509	柿原	堤高	2.2 m
		総貯水量	0.20千㎥
0512	内野第2	堤高	1.5 m
		総貯水量	0.10千㎥
0517	土ノ川内	堤高	6.3 m
		総貯水量	6.00千㎥
0526	八斗田	堤高	2.3 m
		総貯水量	0.60千㎥
0527	黒石	堤高	3.2 m
		総貯水量	1.40千㎥
0530	黒牟田	堤高	4.2 m
		総貯水量	24.00千㎥
0540	八三郎	堤高	5.5 m
		総貯水量	10.00千㎥
0549	平串	堤高	2.4 m
		総貯水量	0.90千㎥
0553	岩本	堤高	3.0 m
		総貯水量	0.50千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡　例

ため池浸水想定区域



洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

指定緊急避難場所　指定避難所　自主避難所

防災重点農業用ため池　避難方向

土砂災害警戒区域 特別警戒区域

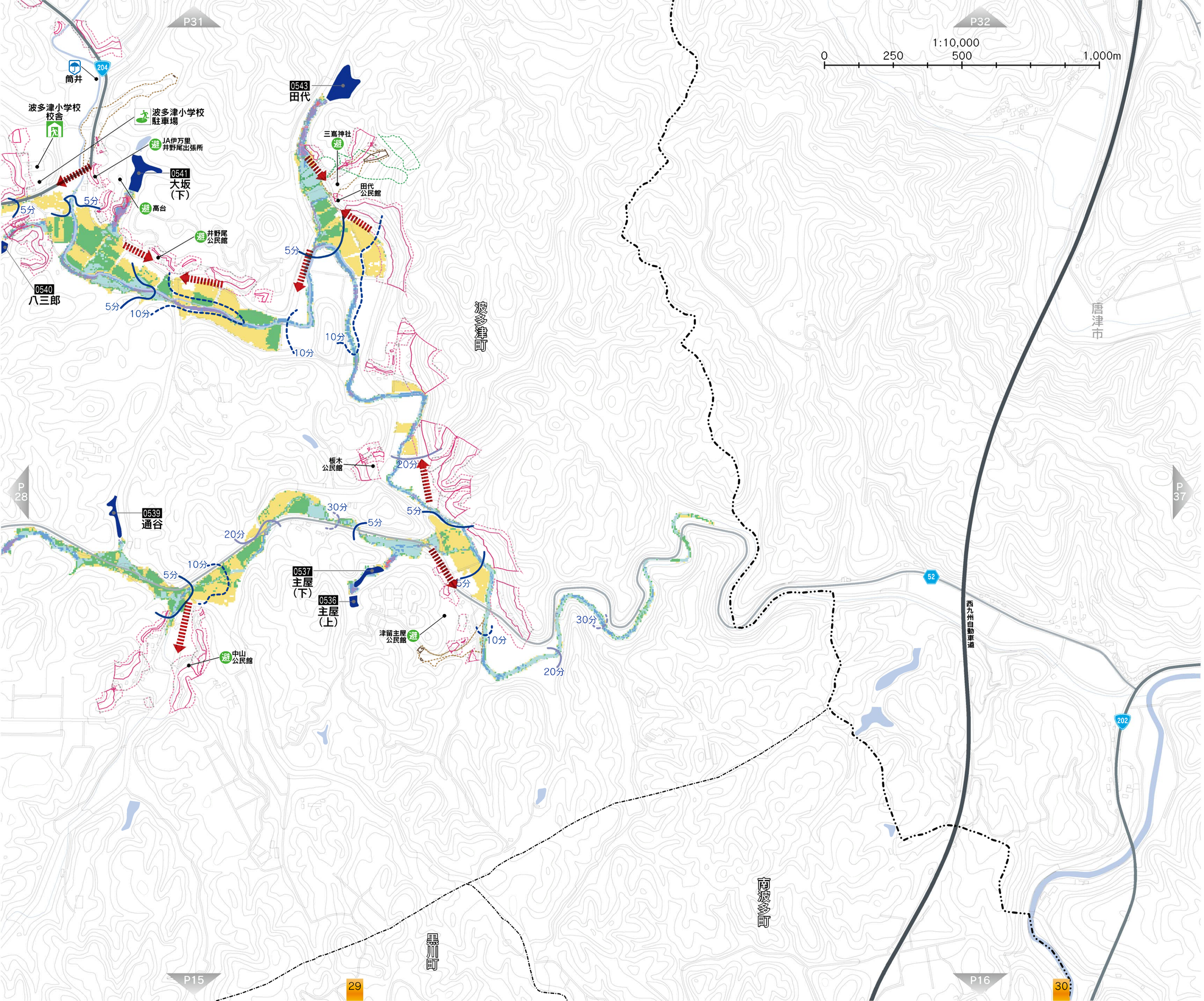
- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

地図記号関連情報

市役所　交番等　消防署等　雨量観測所

市　境　地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



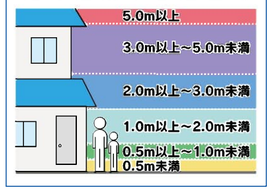
防災重点農業用ため池一覧

0536	主屋(上)	堤高	4.8 m
		総貯水量	6.00千㎥
0537	主屋(下)	堤高	7.4 m
		総貯水量	20.00千㎥
0539	通谷	堤高	3.8 m
		総貯水量	7.00千㎥
0540	八三郎	堤高	5.5 m
		総貯水量	10.00千㎥
0541	大坂(下)	堤高	9.0 m
		総貯水量	48.00千㎥
0543	田代	堤高	5.7 m
		総貯水量	42.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域



洪水到達時間(目安)

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

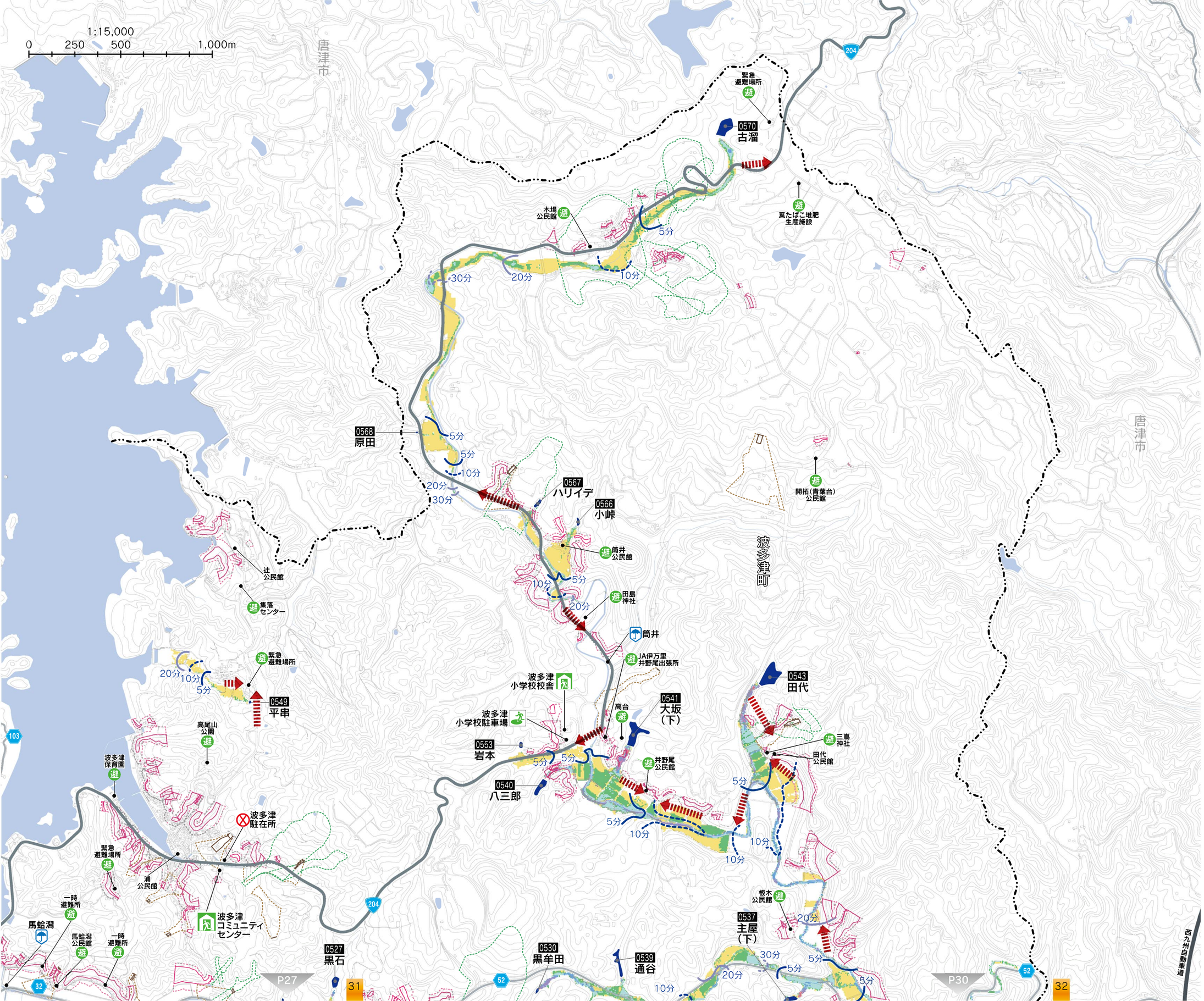
土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

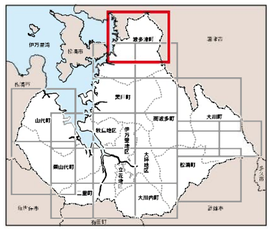
※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

0527	黒石	堤高	3.2 m
		総貯水量	1.40千㎥
0530	黒牟田	堤高	4.2 m
		総貯水量	24.00千㎥
0537	主屋(下)	堤高	7.4 m
		総貯水量	20.00千㎥
0539	通谷	堤高	3.8 m
		総貯水量	7.00千㎥
0540	八三郎	堤高	5.5 m
		総貯水量	10.00千㎥
0541	大坂(下)	堤高	9.0 m
		総貯水量	48.00千㎥
0543	田代	堤高	5.7 m
		総貯水量	42.00千㎥
0549	平串	堤高	2.4 m
		総貯水量	0.90千㎥
0553	岩本	堤高	3.0 m
		総貯水量	0.50千㎥
0566	小峠	堤高	3.3 m
		総貯水量	3.00千㎥
0567	ハリイデ	堤高	5.2 m
		総貯水量	3.60千㎥
0568	原田	堤高	3.6 m
		総貯水量	1.40千㎥
0570	古溜	堤高	5.1 m
		総貯水量	12.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。



凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間(目安)

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

土砂災害警戒区域

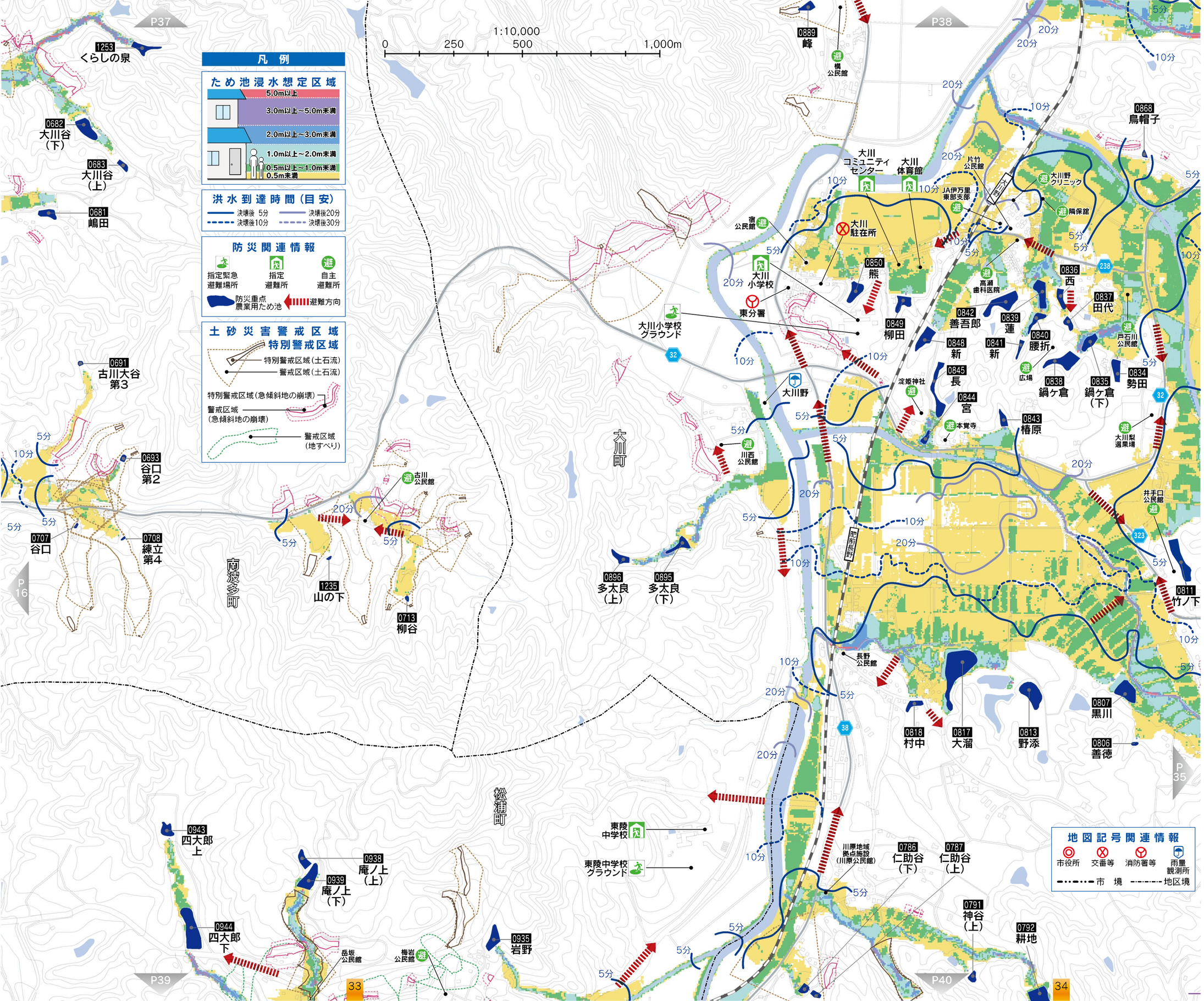
特別警戒区域

- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 812

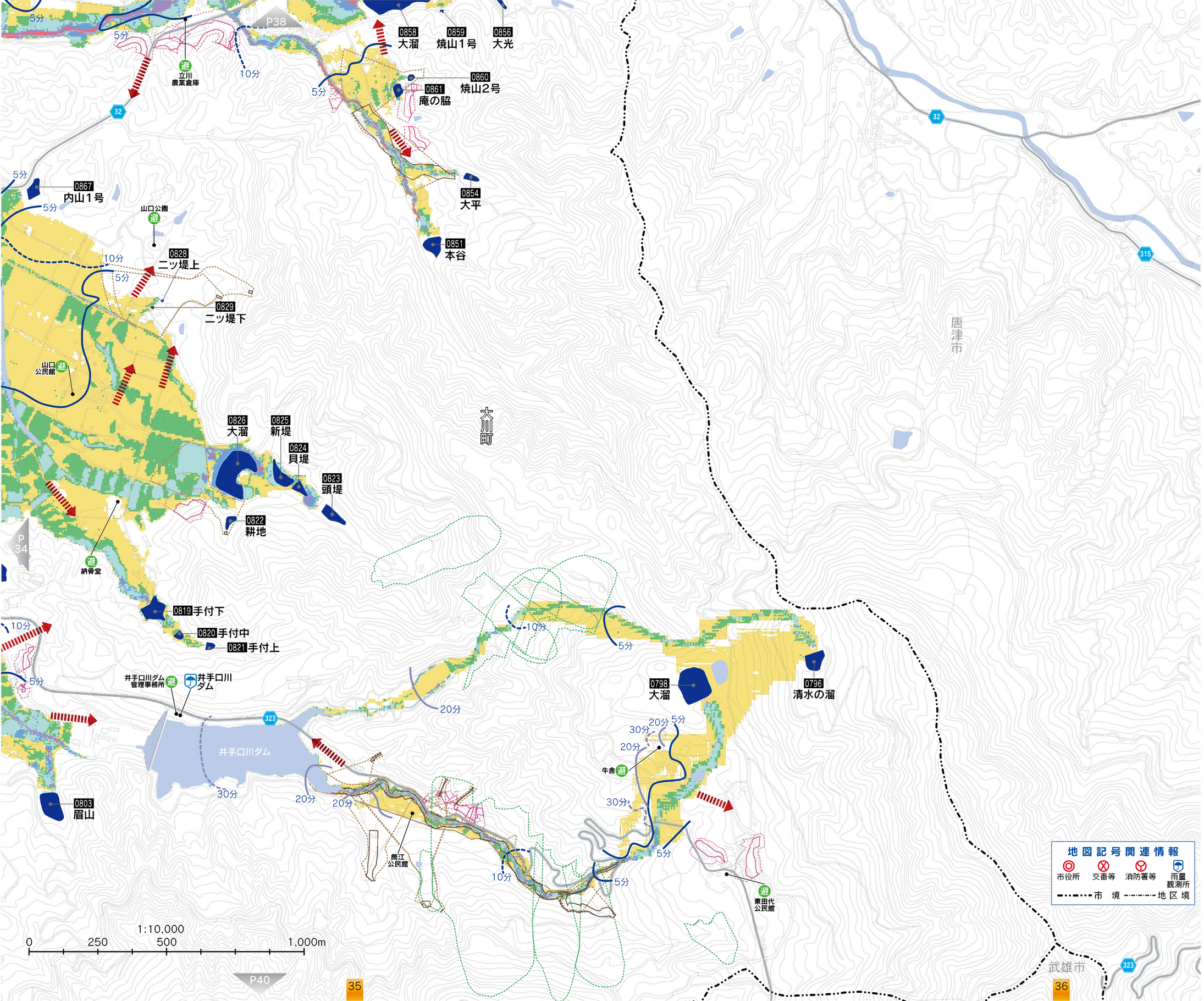


防災重点農業用ため池一覧

0681	嶋田	堤高	3.9 m
		総貯水量	5.20千㎥
0682	大川谷（下）	堤高	7.4 m
		総貯水量	18.00千㎥
0683	大川谷（上）	堤高	4.6 m
		総貯水量	10.00千㎥
0691	古川大谷第3	堤高	1.5 m
		総貯水量	0.50千㎥
0693	谷口第2	堤高	4.5 m
		総貯水量	1.90千㎥
0707	谷口	堤高	3.5 m
		総貯水量	1.30千㎥
0708	練立第4	堤高	2.1 m
		総貯水量	0.90千㎥
0713	柳谷	堤高	3.0 m
		総貯水量	0.50千㎥
0786	仁助谷（下）	堤高	3.6 m
		総貯水量	1.20千㎥
0787	仁助谷（上）	堤高	3.4 m
		総貯水量	1.20千㎥
0791	神谷（上）	堤高	4.4 m
		総貯水量	1.60千㎥
0792	耕地	堤高	14.7 m
		総貯水量	11.00千㎥
0806	善徳	堤高	3.6 m
		総貯水量	1.30千㎥
0807	黒川	堤高	4.5 m
		総貯水量	15.00千㎥
0811	竹ノ下	堤高	7.5 m
		総貯水量	45.00千㎥
0813	野添	堤高	5.7 m
		総貯水量	42.00千㎥
0817	大溜	堤高	5.5 m
		総貯水量	39.00千㎥
0818	村中	堤高	2.9 m
		総貯水量	4.50千㎥
0834	勢田	堤高	2.0 m
		総貯水量	2.00千㎥
0835	鍋ケ倉（下）	堤高	3.9 m
		総貯水量	6.00千㎥
0836	西	堤高	3.0 m
		総貯水量	3.00千㎥
0837	田代	堤高	1.7 m
		総貯水量	0.50千㎥
0838	鍋ケ倉	堤高	7.6 m
		総貯水量	40.00千㎥
0839	蓮	堤高	3.9 m
		総貯水量	6.50千㎥
0840	腰折	堤高	4.5 m
		総貯水量	9.00千㎥
0841	新	堤高	3.6 m
		総貯水量	6.00千㎥
0842	善吾郎	堤高	2.9 m
		総貯水量	7.50千㎥
0843	椿原	堤高	4.6 m
		総貯水量	21.00千㎥
0844	宮	堤高	3.1 m
		総貯水量	4.80千㎥
0845	長	堤高	4.8 m
		総貯水量	33.00千㎥
0848	新	堤高	4.0 m
		総貯水量	13.80千㎥
0849	柳田	堤高	3.8 m
		総貯水量	19.20千㎥
0850	熊	堤高	5.2 m
		総貯水量	17.50千㎥
0868	鳥帽子	堤高	1.7 m
		総貯水量	0.20千㎥
0889	峰	堤高	6.0 m
		総貯水量	3.00千㎥
0895	多太良（下）	堤高	6.5 m
		総貯水量	9.00千㎥
0896	多太良（上）	堤高	5.8 m
		総貯水量	9.00千㎥
0935	岩野	堤高	6.0 m
		総貯水量	7.00千㎥
0938	庵ノ上（上）	堤高	3.6 m
		総貯水量	6.00千㎥
0939	庵ノ上（下）	堤高	9.9 m
		総貯水量	19.20千㎥
0943	四大郎上	堤高	4.2 m
		総貯水量	4.80千㎥
0944	四大郎下	堤高	7.7 m
		総貯水量	30.00千㎥
1235	山の下	堤高	3.3 m
		総貯水量	0.50千㎥
1253	くらしの泉	堤高	10.5 m
		総貯水量	20.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



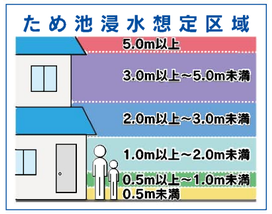
防災重点農業用ため池一覧

0796	清水の溜	堤高	6.3 m
		総貯水量	18.00千㎥
0798	大溜	堤高	7.6 m
		総貯水量	36.00千㎥
0803	眉山	堤高	17.0 m
		総貯水量	110.00千㎥
0819	手付下	堤高	7.5 m
		総貯水量	28.00千㎥
0820	手付中	堤高	4.5 m
		総貯水量	4.40千㎥
0821	手付上	堤高	4.6 m
		総貯水量	3.00千㎥
0822	耕地	堤高	8.4 m
		総貯水量	5.10千㎥
0823	頭堤	堤高	6.5 m
		総貯水量	24.00千㎥
0824	貝堤	堤高	4.8 m
		総貯水量	9.00千㎥
0825	新堤	堤高	6.7 m
		総貯水量	50.00千㎥
0826	大溜	堤高	8.1 m
		総貯水量	159.00千㎥
0828	二ッ堤上	堤高	2.8 m
		総貯水量	1.70千㎥
0829	二ッ堤下	堤高	2.0 m
		総貯水量	0.70千㎥
0851	本谷	堤高	7.7 m
		総貯水量	21.00千㎥
0854	大平	堤高	7.5 m
		総貯水量	6.00千㎥
0856	大光	堤高	6.9 m
		総貯水量	105.00千㎥
0858	大溜	堤高	8.8 m
		総貯水量	209.00千㎥
0859	焼山1号	堤高	2.7 m
		総貯水量	0.40千㎥
0860	焼山2号	堤高	3.8 m
		総貯水量	2.00千㎥
0861	庵の脇	堤高	2.6 m
		総貯水量	2.50千㎥
0867	内山1号	堤高	4.0 m
		総貯水量	16.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域



洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

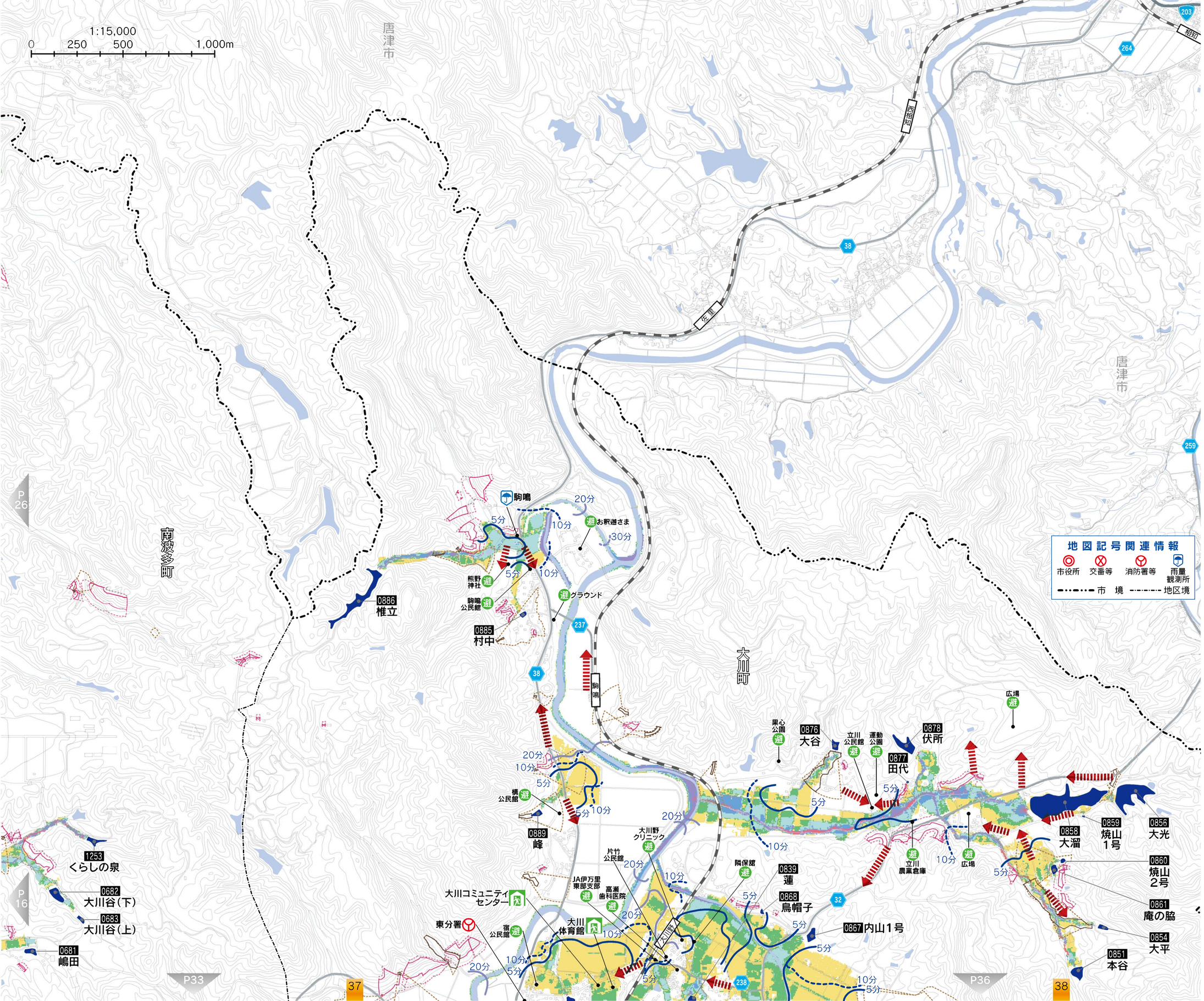
防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

0681	嶋田	堤高	3.9 m
		総貯水量	5.20千㎥
0682	大川谷(下)	堤高	7.4 m
		総貯水量	18.00千㎥
0683	大川谷(上)	堤高	4.6 m
		総貯水量	10.00千㎥
0839	蓮	堤高	3.9 m
		総貯水量	6.50千㎥
0851	本谷	堤高	7.7 m
		総貯水量	21.00千㎥
0854	大平	堤高	7.5 m
		総貯水量	6.00千㎥
0856	大光	堤高	6.9 m
		総貯水量	105.00千㎥
0858	大溜	堤高	8.8 m
		総貯水量	209.00千㎥
0859	焼山1号	堤高	2.7 m
		総貯水量	0.40千㎥
0860	焼山2号	堤高	3.8 m
		総貯水量	2.00千㎥
0861	庵の脇	堤高	2.6 m
		総貯水量	2.50千㎥
0867	内山1号	堤高	4.0 m
		総貯水量	16.00千㎥
0868	鳥帽子	堤高	1.7 m
		総貯水量	0.20千㎥
0876	大谷	堤高	6.0 m
		総貯水量	10.50千㎥
0877	田代	堤高	1.9 m
		総貯水量	0.20千㎥
0878	伏所	堤高	6.4 m
		総貯水量	48.00千㎥
0885	村中	堤高	2.6 m
		総貯水量	1.00千㎥
0886	椎立	堤高	6.9 m
		総貯水量	72.20千㎥
0889	峰	堤高	6.0 m
		総貯水量	3.00千㎥
1253	くらしの泉	堤高	10.5 m
		総貯水量	20.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間(目安)

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

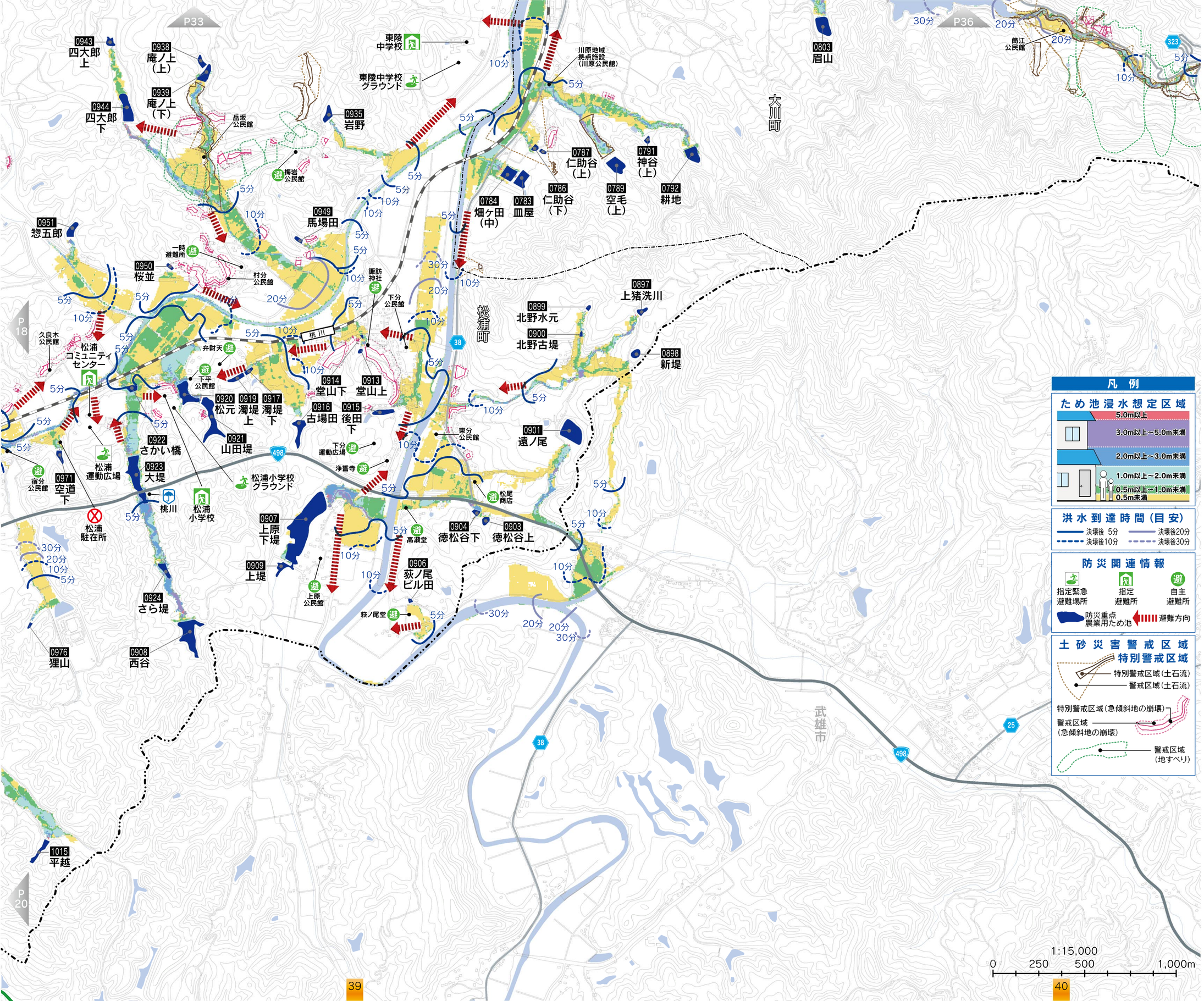
土砂災害警戒区域

- 特別警戒区域(土石流)
- 警戒区域(土石流)
- 特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 警戒区域(地すべり)

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

0783	皿屋	堤高 4.8 m	総貯水量15.60千㎥
0784	畑ヶ田（中）	堤高 4.9 m	総貯水量25.00千㎥
0786	仁助谷（下）	堤高 3.6 m	総貯水量 1.20千㎥
0787	仁助谷（上）	堤高 3.4 m	総貯水量 1.20千㎥
0789	空毛（上）	堤高 9.1 m	総貯水量43.00千㎥
0791	神谷（上）	堤高 4.4 m	総貯水量 1.60千㎥
0792	耕地	堤高14.7 m	総貯水量11.00千㎥
0803	眉山	堤高17.0 m	総貯水量10.00千㎥
0897	上猪洗川	堤高 8.2 m	総貯水量12.00千㎥
0898	新堤	堤高 6.2 m	総貯水量 9.00千㎥
0899	北野水元	堤高 6.0 m	総貯水量 6.00千㎥
0900	北野古堤	堤高 4.7 m	総貯水量 8.00千㎥
0901	遠ノ尾	堤高 7.6 m	総貯水量32.00千㎥
0903	徳松谷上	堤高 6.2 m	総貯水量 7.00千㎥
0904	徳松谷下	堤高 4.8 m	総貯水量 8.00千㎥
0906	荻ノ尾ビル田	堤高 1.9 m	総貯水量 1.50千㎥
0907	上原下堤	堤高 5.3 m	総貯水量70.00千㎥
0908	西谷	堤高 9.6 m	総貯水量52.00千㎥
0909	上堤	堤高 3.1 m	総貯水量10.00千㎥
0913	堂山上	堤高 6.1 m	総貯水量 2.00千㎥
0914	堂山下	堤高 1.2 m	総貯水量 1.80千㎥
0915	後田下	堤高 3.4 m	総貯水量12.60千㎥
0916	古場田	堤高 6.0 m	総貯水量 5.00千㎥
0917	濁堤下	堤高 2.4 m	総貯水量 2.60千㎥
0919	濁堤上	堤高 3.4 m	総貯水量 5.10千㎥
0920	松元	堤高 4.4 m	総貯水量26.00千㎥
0921	山田堤	堤高 5.8 m	総貯水量44.40千㎥
0922	さかい橋	堤高 3.1 m	総貯水量 3.80千㎥
0923	大堤	堤高 5.7 m	総貯水量39.00千㎥
0924	さら堤	堤高 3.5 m	総貯水量 3.00千㎥
0935	岩野	堤高 6.0 m	総貯水量 7.00千㎥
0938	庵ノ上（上）	堤高 3.6 m	総貯水量 6.00千㎥
0939	庵ノ上（下）	堤高 9.9 m	総貯水量19.20千㎥
0943	四大郎上	堤高 4.2 m	総貯水量 4.80千㎥
0944	四大郎下	堤高 7.7 m	総貯水量30.00千㎥
0949	馬場田	堤高 6.1 m	総貯水量 3.00千㎥
0950	桜並	堤高 3.5 m	総貯水量 3.00千㎥
0951	惣五郎	堤高 6.4 m	総貯水量12.00千㎥
0971	空道下	堤高 3.9 m	総貯水量 6.00千㎥
0976	狸山	堤高 3.8 m	総貯水量 2.40千㎥
1015	平越	堤高 9.0 m	総貯水量36.60千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

土砂災害警戒区域 特別警戒区域

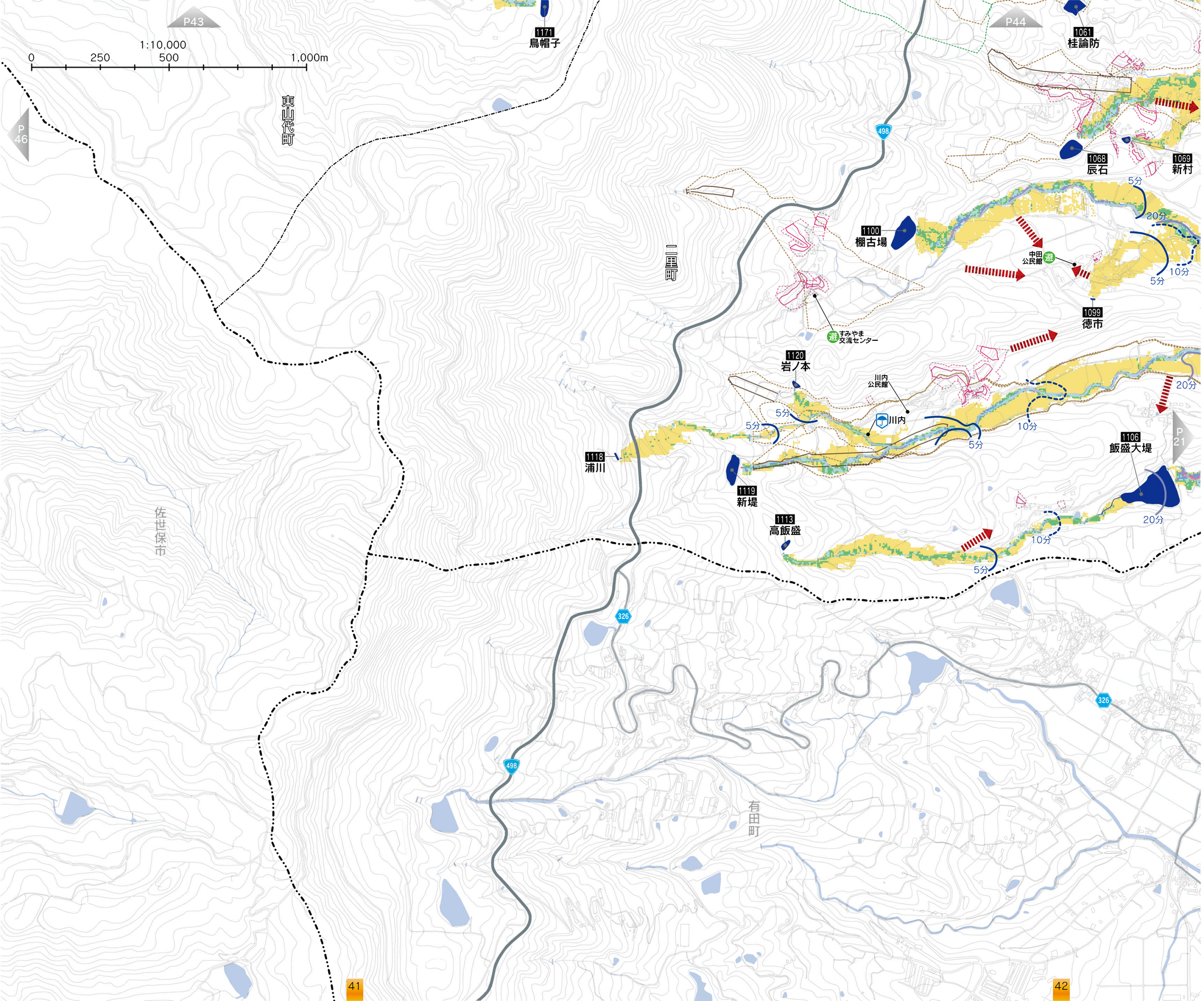
- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

凡例

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

1061	桂論防	堤高	5.7 m
		総貯水量	7.00千㎥
1068	辰石	堤高	8.0 m
		総貯水量	17.40千㎥
1069	新村	堤高	3.8 m
		総貯水量	1.20千㎥
1099	徳市	堤高	2.3 m
		総貯水量	0.20千㎥
1100	棚古場	堤高	12.1 m
		総貯水量	35.00千㎥
1106	飯盛大堤	堤高	10.9 m
		総貯水量	100.00千㎥
1113	高飯盛	堤高	5.3 m
		総貯水量	7.00千㎥
1118	浦川	堤高	4.7 m
		総貯水量	1.30千㎥
1119	新堤	堤高	11.4 m
		総貯水量	20.00千㎥
1120	岩ノ本	堤高	5.7 m
		総貯水量	3.50千㎥
1171	鳥帽子	堤高	7.0 m
		総貯水量	24.50千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

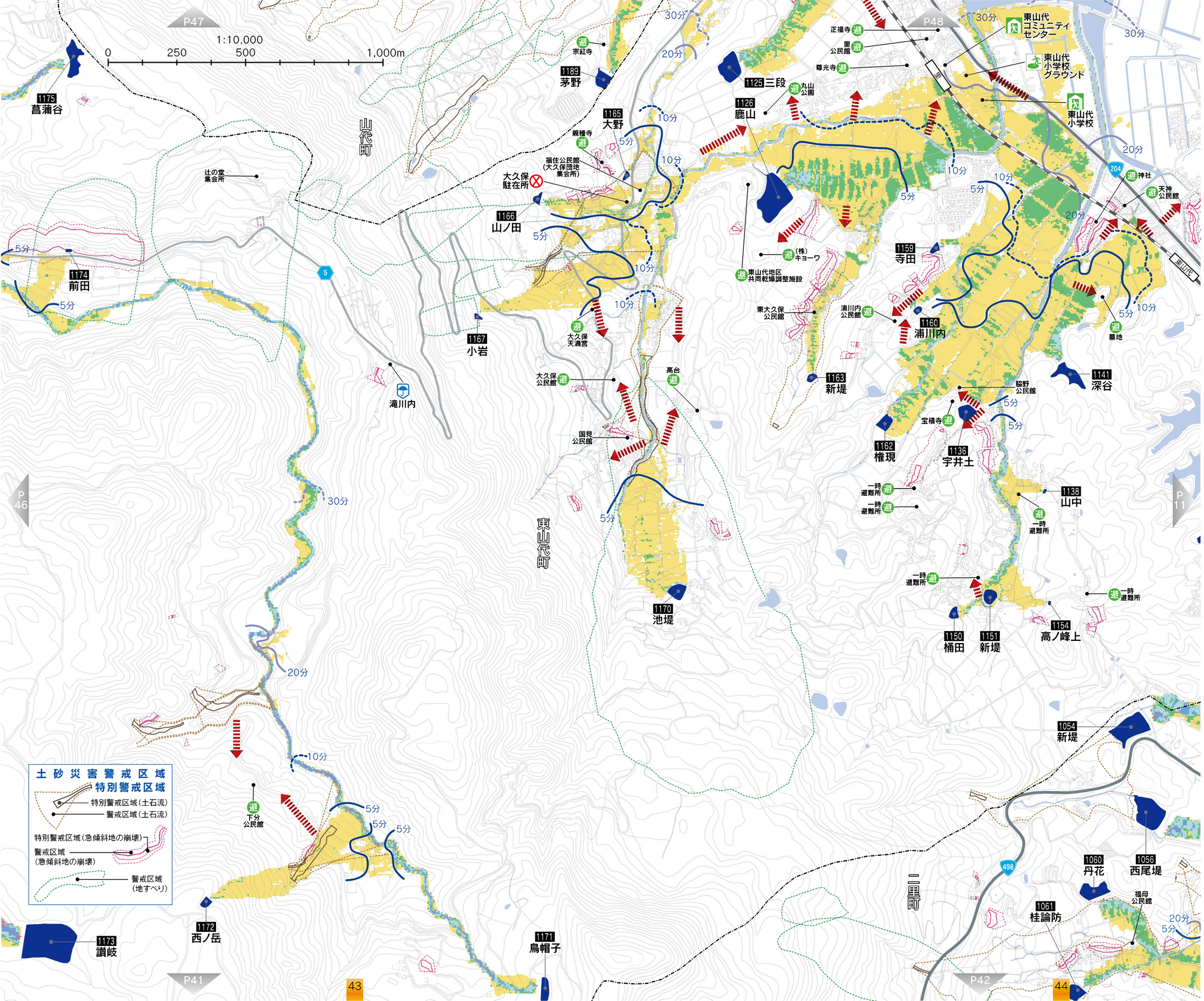
土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

1054	新堤	堤高	10.9 m
		総貯水量	44.00千㎥
1056	西尾堤	堤高	11.2 m
		総貯水量	56.00千㎥
1060	丹花	堤高	7.1 m
		総貯水量	21.00千㎥
1061	桂論防	堤高	5.7 m
		総貯水量	7.00千㎥
1125	三段	堤高	4.5 m
		総貯水量	16.00千㎥
1126	鹿山	堤高	6.4 m
		総貯水量	49.00千㎥
1136	宇井土	堤高	5.0 m
		総貯水量	6.00千㎥
1138	山中	堤高	2.8 m
		総貯水量	0.40千㎥
1141	深谷	堤高	5.1 m
		総貯水量	15.00千㎥
1150	桶田	堤高	5.6 m
		総貯水量	2.00千㎥
1151	新堤	堤高	4.2 m
		総貯水量	4.00千㎥
1154	高ノ峰上	堤高	1.3 m
		総貯水量	0.10千㎥
1159	寺田	堤高	3.5 m
		総貯水量	1.00千㎥
1160	浦川内	堤高	2.9 m
		総貯水量	1.40千㎥
1162	権現	堤高	5.2 m
		総貯水量	7.00千㎥
1163	新堤	堤高	5.2 m
		総貯水量	2.00千㎥
1165	大野	堤高	4.0 m
		総貯水量	0.10千㎥
1166	山ノ田	堤高	4.0 m
		総貯水量	2.00千㎥
1167	小岩	堤高	3.3 m
		総貯水量	1.00千㎥
1170	池堤	堤高	5.0 m
		総貯水量	5.00千㎥
1171	鳥帽子	堤高	7.0 m
		総貯水量	24.50千㎥
1172	西ノ岳	堤高	3.7 m
		総貯水量	2.00千㎥
1173	讃岐	堤高	16.0 m
		総貯水量	135.00千㎥
1174	前田	堤高	2.2 m
		総貯水量	0.40千㎥
1175	菖蒲谷	堤高	6.9 m
		総貯水量	24.00千㎥
1189	茅野	堤高	2.6 m
		総貯水量	10.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

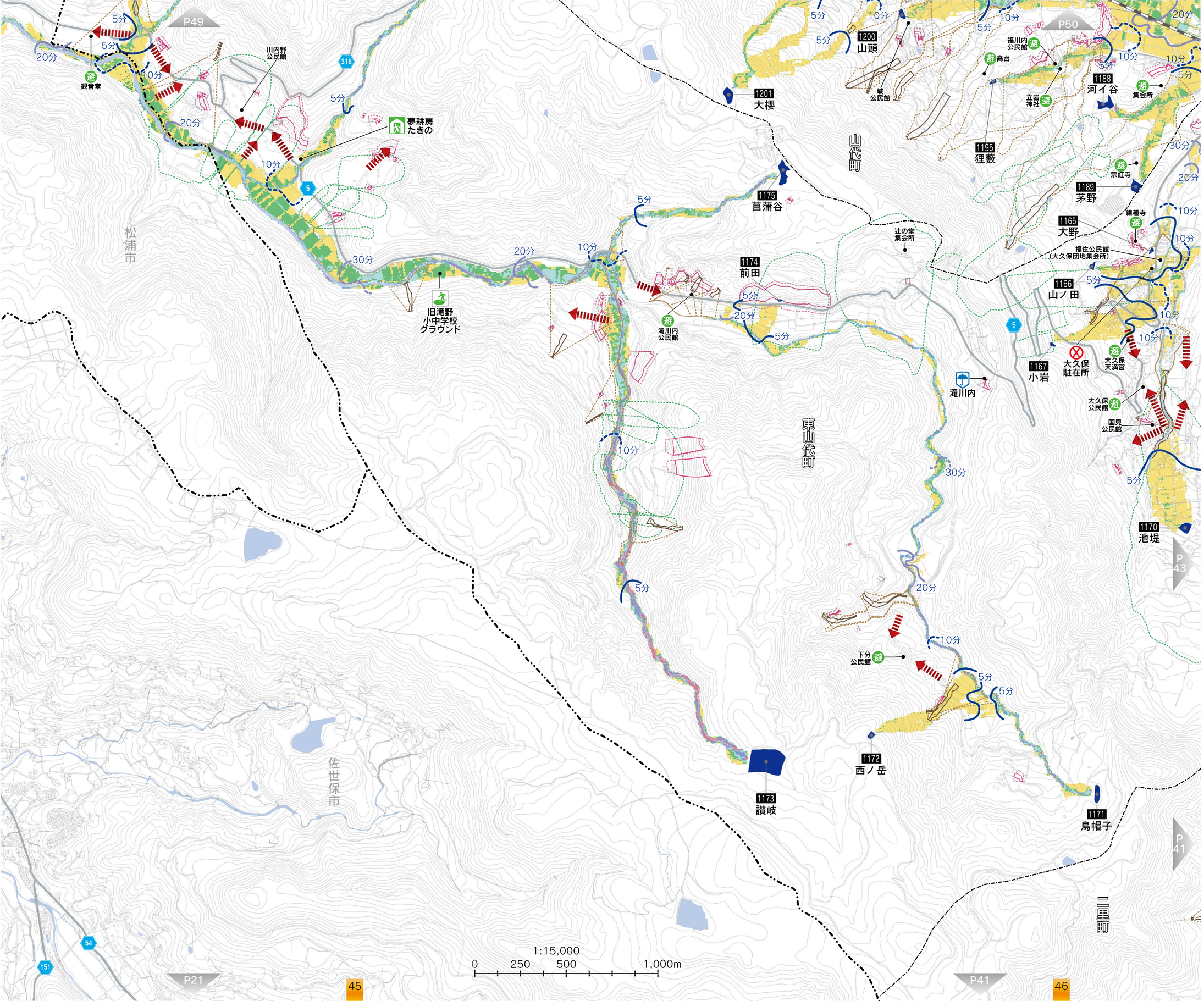
防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

1165	大野	堤高	4.0 m
		総貯水量	0.10千㎥
1166	山ノ田	堤高	4.0 m
		総貯水量	2.00千㎥
1167	小岩	堤高	3.3 m
		総貯水量	1.00千㎥
1170	池堤	堤高	5.0 m
		総貯水量	5.00千㎥
1171	鳥帽子	堤高	7.0 m
		総貯水量	24.50千㎥
1172	西ノ岳	堤高	3.7 m
		総貯水量	2.00千㎥
1173	讃岐	堤高	16.0 m
		総貯水量	135.00千㎥
1174	前田	堤高	2.2 m
		総貯水量	0.40千㎥
1175	菖蒲谷	堤高	6.9 m
		総貯水量	24.00千㎥
1188	河イ谷	堤高	6.2 m
		総貯水量	10.00千㎥
1189	茅野	堤高	2.6 m
		総貯水量	10.00千㎥
1195	狸藪	堤高	14.2 m
		総貯水量	4.00千㎥
1200	山頭	堤高	3.5 m
		総貯水量	3.00千㎥
1201	大櫻	堤高	8.7 m
		総貯水量	7.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812

防災重点農業用ため池一覧

0103	松陰浦	堤高	3.6 m
		総貯水量	10.50千㎥
0104	鳥越	堤高	9.7 m
		総貯水量	15.00千㎥
0107	芋畑	堤高	4.5 m
		総貯水量	1.80千㎥
1188	河イ谷	堤高	6.2 m
		総貯水量	10.00千㎥
1195	狸藪	堤高	14.2 m
		総貯水量	4.00千㎥
1200	山頭	堤高	3.5 m
		総貯水量	3.00千㎥
1201	大櫻	堤高	8.7 m
		総貯水量	7.00千㎥
1205	前田	堤高	2.5 m
		総貯水量	6.00千㎥
1206	狩場	堤高	2.6 m
		総貯水量	1.00千㎥
1207	平松	堤高	4.8 m
		総貯水量	5.00千㎥
1216	大井手	堤高	10.4 m
		総貯水量	5.00千㎥
1217	筒ノ原	堤高	9.2 m
		総貯水量	63.00千㎥
1221	大藤	堤高	3.9 m
		総貯水量	12.50千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

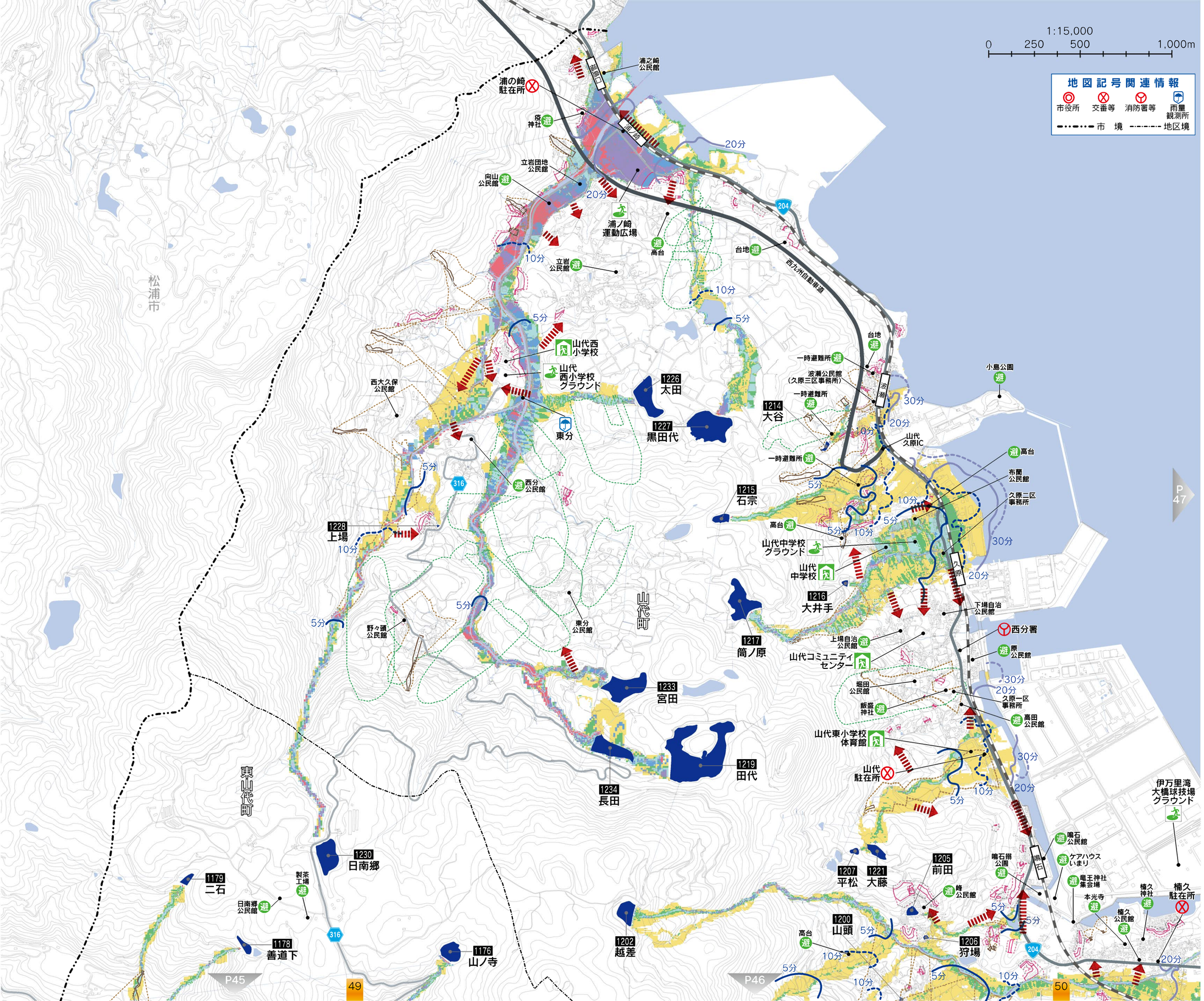
土砂災害警戒区域 特別警戒区域

- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

地図記号関連情報

- 市役所
- 交番等
- 消防署等
- 雨量観測所
- 市境
- 地区境

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812



防災重点農業用ため池一覧

1176	山ノ寺	堤高	13.6 m
		総貯水量	70.00千㎥
1178	善道下	堤高	8.7 m
		総貯水量	11.40千㎥
1179	二石	堤高	9.1 m
		総貯水量	15.20千㎥
1200	山頭	堤高	3.5 m
		総貯水量	3.00千㎥
1202	越差	堤高	9.7 m
		総貯水量	45.00千㎥
1205	前田	堤高	2.5 m
		総貯水量	6.00千㎥
1206	狩場	堤高	2.6 m
		総貯水量	1.00千㎥
1207	平松	堤高	4.8 m
		総貯水量	5.00千㎥
1214	大谷	堤高	7.0 m
		総貯水量	3.50千㎥
1215	石宗	堤高	5.9 m
		総貯水量	17.50千㎥
1216	大井手	堤高	10.4 m
		総貯水量	5.00千㎥
1217	筒ノ原	堤高	9.2 m
		総貯水量	63.00千㎥
1219	田代	堤高	5.2 m
		総貯水量	270.00千㎥
1221	大藤	堤高	3.9 m
		総貯水量	12.50千㎥
1226	太田	堤高	5.7 m
		総貯水量	56.00千㎥
1227	黒田代	堤高	5.2 m
		総貯水量	59.50千㎥
1228	上場	堤高	1.2 m
		総貯水量	0.20千㎥
1230	日南郷	堤高	11.3 m
		総貯水量	100.00千㎥
1233	宮田	堤高	7.9 m
		総貯水量	10.00千㎥
1234	長田	堤高	8.0 m
		総貯水量	68.00千㎥

※ため池の数字は、ため池コード番号の下4ケタを使用しています。

凡例

ため池浸水想定区域

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 2.0m以上～3.0m未満
- 1.0m以上～2.0m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 0.5m未満

洪水到達時間（目安）

- 決壊後 5分
- 決壊後10分
- 決壊後20分
- 決壊後30分

防災関連情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 自主避難所
- 防災重点農業用ため池
- 避難方向

土砂災害警戒区域

- 特別警戒区域
- 特別警戒区域（土石流）
- 警戒区域（土石流）
- 特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 警戒区域（地すべり）

※使用の地図は、測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 5JHs 812

日　頃　の　備　え

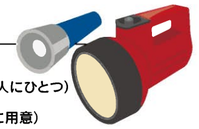
非常持出品／備蓄品リスト

非常持出品

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。
事前に準備出来ているか、確認しましょう。

携帯ラジオ
- □ ラジオ
- □ 電池（多めに用意）

懐中電灯
- □ 懐中電灯（できれば一人にひとつ）
- □ 電池（多めに用意）

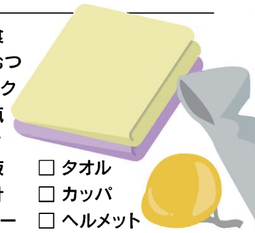


貴重品
- □ 現金
- □ 印鑑
- □ 免許証
- □ マイナンバーカード
- □ 健康保険証
- □ 預金通帳
- □ 権利証書

救急医療品
- □ 常備薬
- □ ばんそうこう
- □ 鎮痛剤
- □ 風邪薬
- □ 胃腸薬
- □ 包帯
- □ 傷薬
- □ お薬手帳

非常食品等（火を通さないで食べられるもの、食器など）
- □ 非常用食品
- □ ミネラルウォーター
- □ 缶切り
- □ 缶詰
- □ 紙皿
- □ 水筒
- □ 栓抜き
- □ 紙コップ

その他
- □ 衣類（下着・上着など）
- □ 生理用品
- □ ウェットティッシュ
- □ 携帯電話の充電器
- □ 各種ハザードマップ
- □ ラップフィルム（止血や食器にかぶせて使う）
- □ 離乳食
- □ 紙おむつ
- □ 粉ミルク
- □ 哺乳瓶
- □ マスク
- □ 消毒液
- □ 体温計
- □ ライター
- □ タオル
- □ カッパ
- □ ヘルメット



非常備蓄品

災害復旧までの数日間（最低3日）を生活できるように準備しましょう。

燃　料
- □ 卓上コンロ
- □ ガスボンベ
- □ 固形燃料

非常食品など
- □ お米（缶詰・レトルト・アルファ米も便利）
- □ 缶詰・レトルト食品
- □ 梅干し・調味料など
- □ ドライフーズ・チョコレート・アメ（菓子類など）
- □ 飲料水

その他
- □ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- □ 調理器具（なべ・やかんなど）
- □ バケツ・各種アウトドア用品など

ローリングストック法

管理している非常食などを定期的に消費し、その分だけ補充していく備蓄方法です。「食べながら備蓄する」ということができます。

トイレの備え

発災後は、トイレが使用できなくなる場合があります。市販の非常用トイレの準備や、段ボールとゴミ袋で作る簡易トイレの準備も考えておきましょう。また、悪臭対策のため、消臭スプレー等を準備しておくとよいでしょう。

非常持出品／備蓄品のチェックポイント（家族構成に合わせた準備を!）

□ 女性向け

化粧水や保湿クリームなどの身支度グッズや生理用品など自分にとって必要なアイテムを考えて準備しましょう。

□ 乳幼児保護者向け

紙おむつ、お気に入りのおもちゃやアレルギー等を記載したメモ帳など成長にあわせて見直していきましょう。

□ 高齢者向け

常備薬やお薬手帳、処方箋、入れ歯、緊急時の連絡先等の情報メモなどのコピーを準備しておくと安心です。

□ ペットを飼っている方

ドッグフードやリード、ケージ、トイレ用品、敷物（ブルーシート）などを忘れないようにしましょう。

家族で防災について話し合いましょう

❶ 家族一人ひとりの役割分担

日常の防災対策の分担と、災害発生時の役割を決めておく必要があります。

要配慮者がいる場合は、その支援方法についても考えましょう。

また、昼と夜とでは役割が異なるため、昼夜それぞれで役割を検討しておきましょう。

❷ 家族が離ればなれになったときの連絡方法

災害時には誰に連絡するか、どの連絡方法を利用するか決めておきましょう。安否確認には災害用伝言サービスなどのサービスを利用しましょう。

❸ 子どもの引き取り者の確認

災害時に保育園・幼稚園・学校における、子どもの引き取りに関する取り決めを家族や親族で確認しておきましょう。

❹ ハザードマップを確認

身の回りの災害危険箇所や避難所、避難経路を確認し、事前に備えましょう。

地域防災力を高めましょう

❶ 災害を知る

どれぐらいの規模で、どのような災害の発生が予想されるか、いろいろな情報を集めましょう。

❷ まちを知る

災害時の安全な場所、危険な場所はどこにあるのか、何かあった場合に避難する場所や施設を話し合っておきましょう。

❸ 人を知る

ご近所に手助けが必要な人がいないか、いざという時に頼りになる人はいるのか、日頃のコミュニケーションが必要です。

自助・共助の重要性

災害時の助けとなる割合は、自助=70%、共助=20%、公助=10%と言われ、実際に阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊などで救助を必要とした方のうち、98%もの人が自助と共助によって救助されました。

災害の規模が大きくなるほど、自助・共助の重要性が増します。家庭での備えはもちろん、ご近所同士で助け合える関係を作っておくことが必要です。

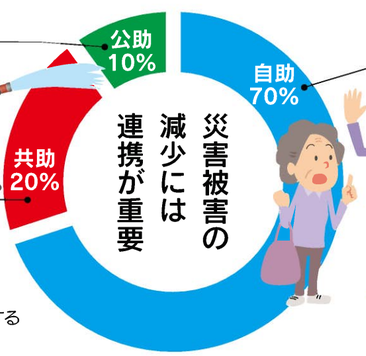
災害時の助けとなる割合

公助（行政の救助・支援）10%

行政が災害に強い地域の基盤強化を進める
- ○総合防災訓練を実施する
- ○避難場所を指定する
- ○防災に関する計画を作成する

共助（助け合う）20%

地域のみんなで助け合う
- ○地域で助け合う
- ○地区防災会へ参加する
- ○自主的な防災訓練を実施する
- ○地区防災計画を作成する



自助（自分で守る）70%

自分の命は自分で守る
- ○自分や家族の命を守る
- ○災害備蓄品を準備する
- ○日頃から家の周辺の安全対策を行う
- ○緊急時の連絡先を確認する

阪神・淡路大震災では98%が自助・共助で助かっています！

地区防災会で地域を守る

地区防災会とは、地域のみなさんが災害に対して協力し合う組織です。伊万里市では、各行政区に地区防災会が結成されています。

平常時の活動

- **●みんなで学ぼう!……** 防災に関する知識を身につけましょう。想定される災害と対応について話し合いましょう。
- **●地域を点検しよう!…** 避難経路に危険な場所がないか点検しましょう。
- **●訓練をしよう!……**
  - ■初期消火訓練
  - ■避難所の開設・運営訓練
  - ■避難者の誘導訓練

災害時の活動

- **●初期消火活動……** 身の安全を確保し、消火器などを用いた初期消火の実施。
- **●避難誘導支援……** 高齢者や障がいのある人などへの避難誘導の支援。
- **●救出・救護活動 ……** 身の安全を確保し、被災者の救出や救護活動の支援。
- **●情報の収集・伝達 …** 災害に関する正しい情報を収集伝達。
- **●避難所での支援……** 水や食料などの配給支援や炊き出しなどの活動を支援。

避難所の運営

避難者による自主的な運営が基本です

市の職員や施設職員(学校教職員など)の協力のもとに自主的な避難所運営に当たりましょう。

地域全体の支援拠点として機能します

避難所の避難者だけでなく地域でさまざまな支援を提供します。

健康管理、物資供給、情報提供などの各種支援を通して、地域全体の生活再建を目指しましょう。

誰にとっても優しい避難所を目指します

女性、子ども、高齢者、性的少数者、障がいのある人などの多様な意見を踏まえた避難所運営を行うため、避難所運営委員会には性別に関わらず参画するように配慮しましょう。

また、避難生活の問題点を解決するため、相談窓口を設けるなどして対応しましょう。

災害時に特別な配慮を要する人への支援

高齢者や障がいのある人など、災害時において特に配慮を要する人は、地域のみなさんの支援が必要です。

■高齢者・病気の人

- ●背負う(または担架、リヤカーなどを利用する)などして安全な場所まで避難しましょう。
- ●複数の介助者で対応しましょう。

■車いすを利用している人

- ●どのように介助したらいいか、本人に確認しましょう。
- ●階段では介助者2人以上が必要です。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動しましょう。

■目の不自由な人

- ●声をかけ、情報を伝えましょう。
- ●誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩きましょう。

■耳の不自由な人

- ●話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにしましょう。
- ●手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝えましょう。

避　難　生　活　の　心　得

大規模災害では、ライフラインの停止などにより、避難生活が長期化する可能性があります。自宅が危険な状態になった場合は指定避難所に避難しますが、車の中で寝泊まりすること(車中泊避難)もあります。

また、被災を免れた自宅で避難生活を送ること(在宅避難)もあります。避難生活は不自由で困難なものです。1日も早く災害前の生活を取り戻すために、被災者同士で積極的に助け合いましょう。

避難生活の注意点

共同生活における注意点

- ●性別で役割分担を固定したり、一部の人だけに負担が集中したりしないように、できることをみんなで分担・協力し合いましょう。
- ●居住スペースでの飲酒は控え、原則禁煙です。
- ●起床から消灯まで避難所で定められた生活時間を守りましょう。

健康管理における注意点

●メンタルヘルス(心の健康)

避難所生活では、災害で大きな被害を受けたことへのショック、不自由な現状や将来的な生活再建への不安などを和らげるメンタルヘルス対策も重要です。苦しいときは遠慮せず、避難所を訪れる医療や福祉の専門家に相談しましょう。

感染症対策

- ●日常的に手洗い・うがいをしましょう。咳やくしゃみが出るときはマスクを着用しましょう。
- ●食事前には必ず手洗いをし、食べ物には素手で触らないようにしましょう。
- ●生ものは避け、食材はできるだけ加熱調理しましょう。賞味期限にも注意しましょう。

避難所生活における配慮

要配慮者への配慮

誰もが安心して避難生活が送れるよう、多様な人に配慮したスペース作りに心がけましょう。

- **●乳幼児スペース**
- **●多目的スペース**
- **●情報コーナー**
- **●福祉スペース**
- **●相談窓口の設置 など**

ペットの管理

避難所ごとにペットの受入れ方や条件が異なります。

ペットを連れて避難する場合は、避難所のルールに従って、飼い主が責任を持ちましょう。

女性への配慮

●女性専用スペースの確保

着替えや授乳などのために人目につかないスペースの確保、女性専用の洗濯・物干し場所や洗濯機の設置場所の確保など、女性が安心して利用できるよう配慮しましょう。

●女性担当者の配置

運営組織に女性担当者を配置し、女性の視点を活かした運営を積極的に行いましょう。

また、女性が必要とする物資は女性担当者から配布するような体制をとりましょう。

●犯罪や暴力の防止

夜間や人通りの少ない場所での犯罪や性暴力を防止するため、パトロールの実施や防犯ブザーの配布などの対策をとりましょう。

車中泊避難の注意点

車中泊避難は、プライバシーの確保、エアコン完備、カーラジオからの情報入手などといった利点がある一方で、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒など健康上の危険にも十分注意しましょう。

- **■車上荒らしの危険や、ガソリンが入手しにくい場合がある。**
- **■排気音や排気ガスが気になり、長時間エアコンをかけられない。**
- **■避難者として把握されにくく、支援情報などを把握しにくい。**